

秋の観光シーズンにおける 観光客の動向と交通状況

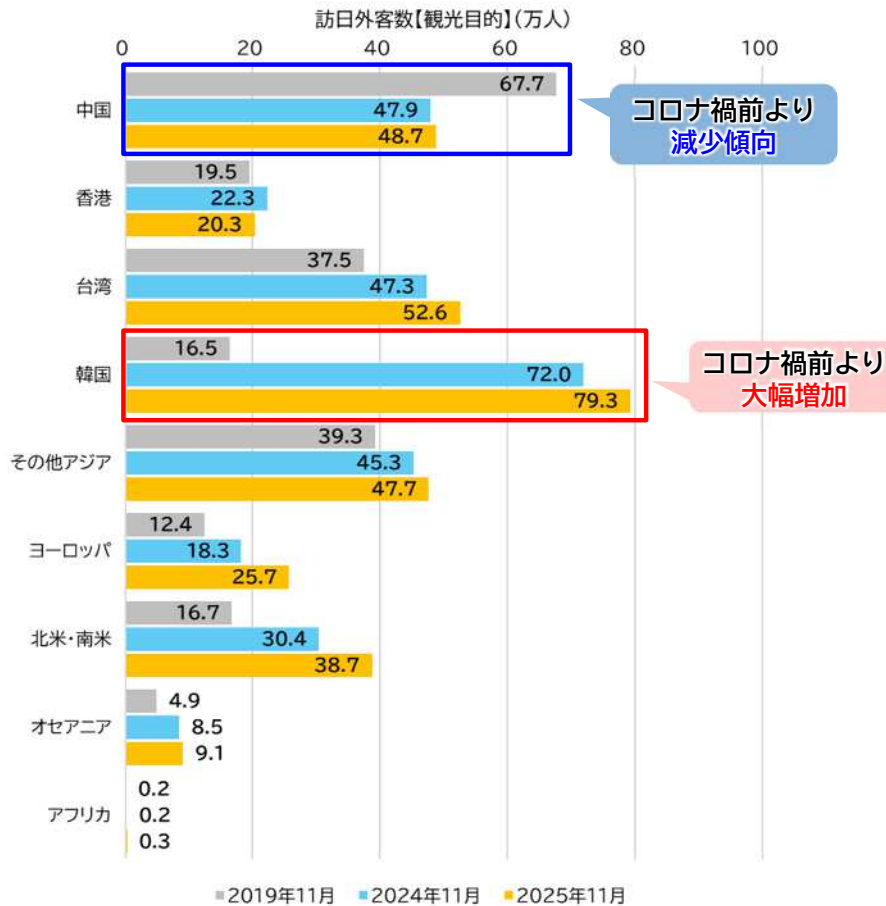
1. 京都市内の観光動向
2. 訪日外国人の動向
3. 国内観光客（市外来訪者）の動向
4. 京都市内の交通状況
5. 東山エリアの交通状況

【前提】中国の渡航自粛要請による影響確認

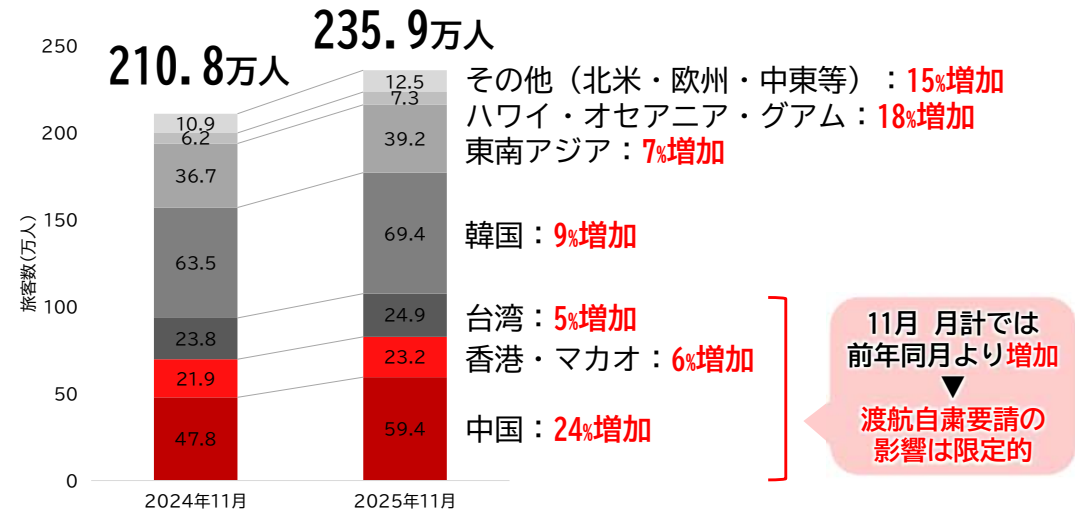
- 日本全体の11月の訪日外客数は**322.5万人**で、**前年同月比10.4%増**。
- 11月時点では、**中国からの渡航自粛要請（2025/11/14～）の影響は月計としては限定的**と考えられる。
- ➡ 以降の分析は、上記動向を前提として京都市内の観光動向を分析。

■日本全体の訪日外客数（観光目的）

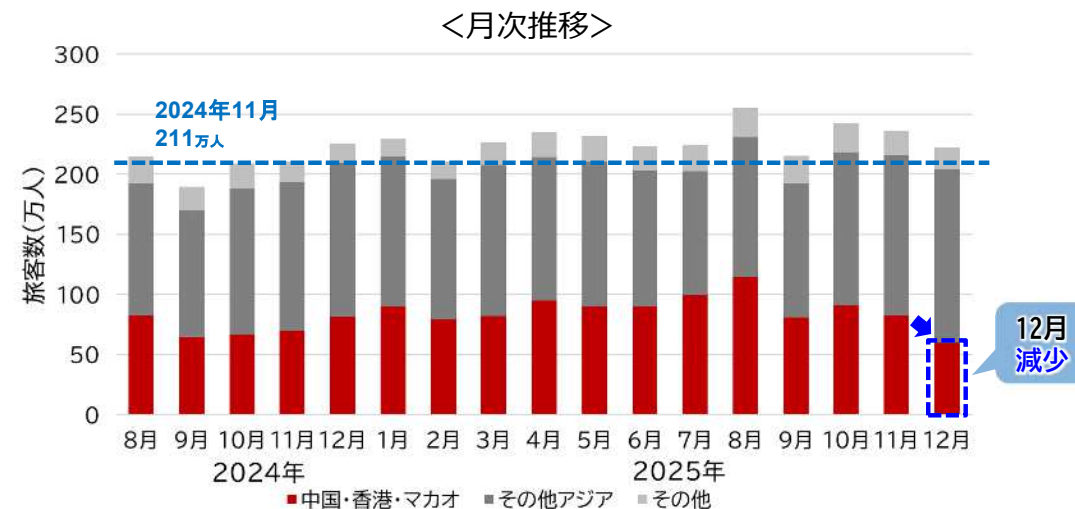
2024年11月総数 **292.2万人** ➡ 2025年11月総数 **322.5万人 (+10.4%)**



■関西国際空港 国際線 方面別旅客数（入出国）



11月 月計では前年同月より増加
▼
渡航自粛要請の影響は限定的



1. 京都市内の観光動向

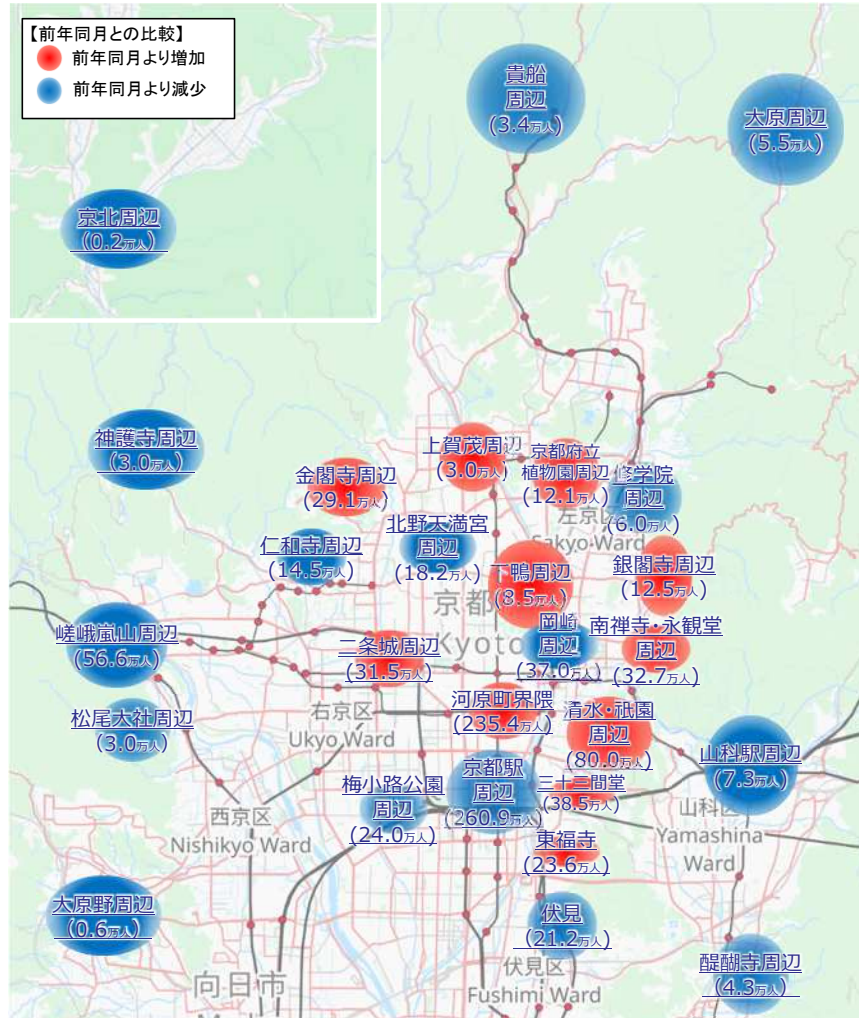
使用データ:

モバイル空間統計®(推計来訪者数)

京都市内における観光客の変化（国内・訪日外国人）

- R7.11の訪日外国人を含めた観光客は、清水・祇園周辺，嵯峨嵐山周辺に**集中**。
- 一部の市内観光地（三十三間堂，南禅寺・永観堂周辺，東福寺）では、国内観光客の寄与により**増加**。
- 観光地により国内観光客の増減傾向が異なる一方、訪日外国人は概ね**微増**。

■ R7.11の観光客数の前年との比較（国内観光客+訪日外国人）



総数順位	観光地	①国内観光客		②訪日外国人		総数(①+②)		訪日外国人比率
		観光客数(万人)	前年同月との増減人数(万人)	観光客数(万人)	前年同月との増減人数(万人)	観光客数(万人)	前年同月との増減人数(万人)	
1	清水・祇園周辺	42.0	-1.1	38.1	1.9	80.0	0.8	48%
2	嵯峨嵐山周辺	35.9	-3.6	20.8	1.0	56.6	-2.6	39%
3	三十三間堂	28.3	4.0	10.2	1.8	38.5	5.7	24%
4	岡崎周辺	31.4	-0.0	5.7	-0.0	37.0	-0.0	15%
5	南禅寺・永観堂周辺	26.8	4.7	5.9	-0.8	32.7	3.9	16%
6	二条城周辺	27.8	5.7	3.7	-0.1	31.5	5.5	10%
7	金閣寺周辺	18.4	-0.5	10.7	1.2	29.1	0.6	38%
8	梅小路公園周辺	21.1	-0.7	2.9	0.3	24.0	-0.4	12%
9	東福寺	19.8	3.3	3.8	0.4	23.6	3.7	14%
10	伏見	11.1	-0.5	10.1	0.5	21.2	-0.0	49%
11	北野天満宮周辺	17.4	-0.6	0.8	-0.1	18.2	-0.8	4%
13	仁和寺周辺	13.3	-0.9	1.2	0.1	14.5	-0.8	9%
14	銀閣寺周辺	8.8	0.1	3.7	0.4	12.5	0.5	29%
15	京都府立植物園周辺	11.8	0.7	0.3	0.0	12.1	0.7	3%
17	下鴨周辺	7.7	0.2	0.8	0.1	8.5	0.3	9%
18	山科駅周辺	7.2	-0.1	0.2	0.0	7.3	-0.1	2%
19	修学院周辺	5.6	-0.1	0.4	-0.0	6.0	-0.1	6%
20	大原周辺	4.2	-0.7	1.3	-0.7	5.5	-1.4	28%
21	醍醐寺周辺	4.2	0.0	0.1	-0.1	4.3	-0.1	2%
22	貴船周辺	2.6	-0.5	0.8	0.0	3.4	-0.4	27%
23	神護寺周辺	2.5	-0.6	0.5	-0.2	3.0	-0.8	20%
24	上賀茂周辺	3.0	0.1	0.0	-0.0	3.0	0.0	2%
25	松尾大社周辺	2.6	-0.3	0.4	-0.1	3.0	-0.4	15%
27	大原野周辺	0.6	-0.0	0.0	-0.0	0.6	-0.0	2%
28	京北周辺	0.2	-0.0	0.0	0.0	0.2	-0.0	0%

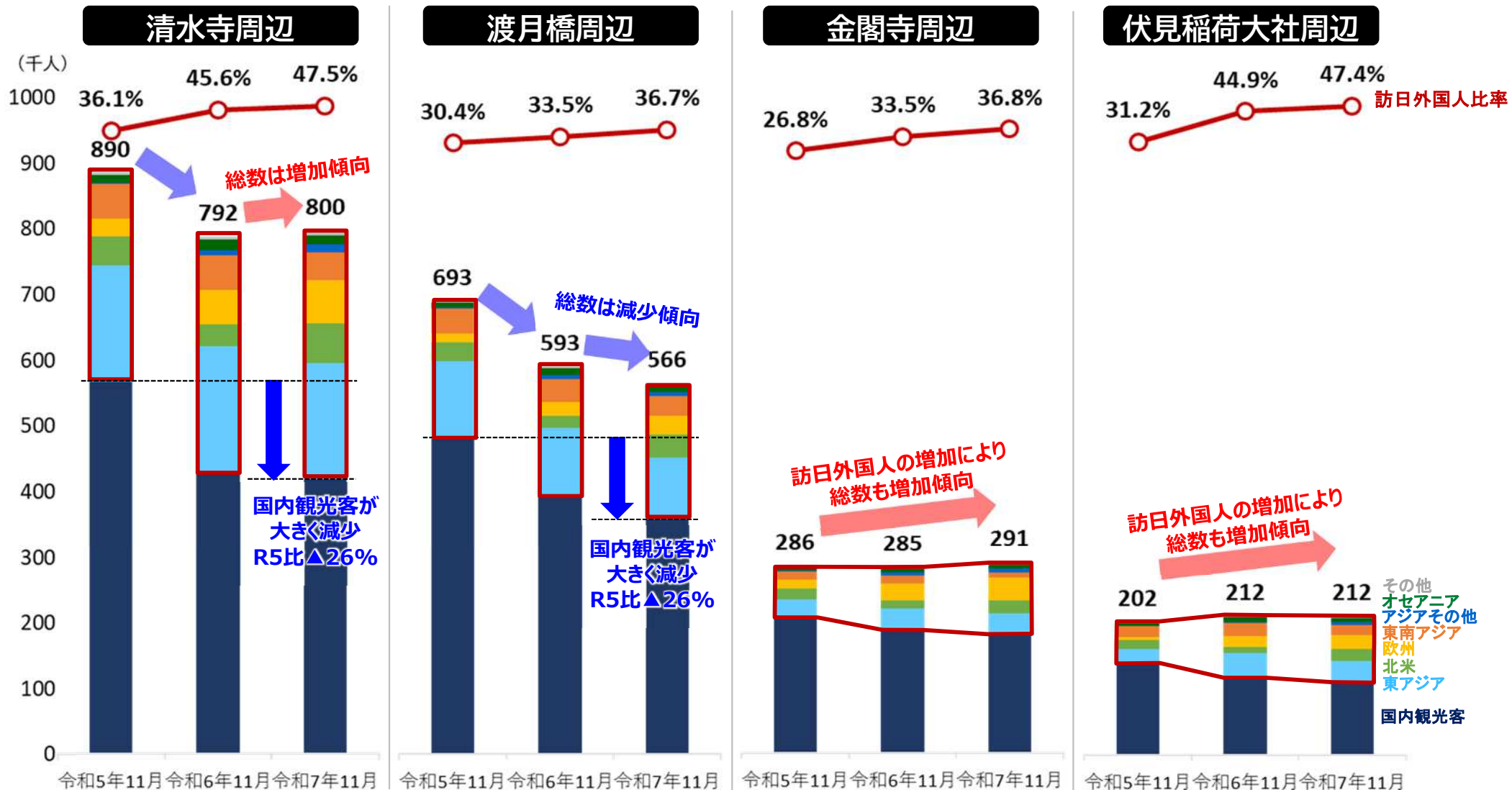
(出典) (株)ドコモ・インサイトマーケティング モバイル空間統計②
 期間：令和6年11月，令和7年11月 全日計 10:00～17:59
 数値は3次メッシュ（1km四方）における1時間以上の滞在者を示し、エリア名はメッシュ内に位置する代表観光地
 国内観光客は集計対象メッシュ周辺に居住地または勤務地をもたない人を指す

2. 訪日外国人の動向

使用データ:

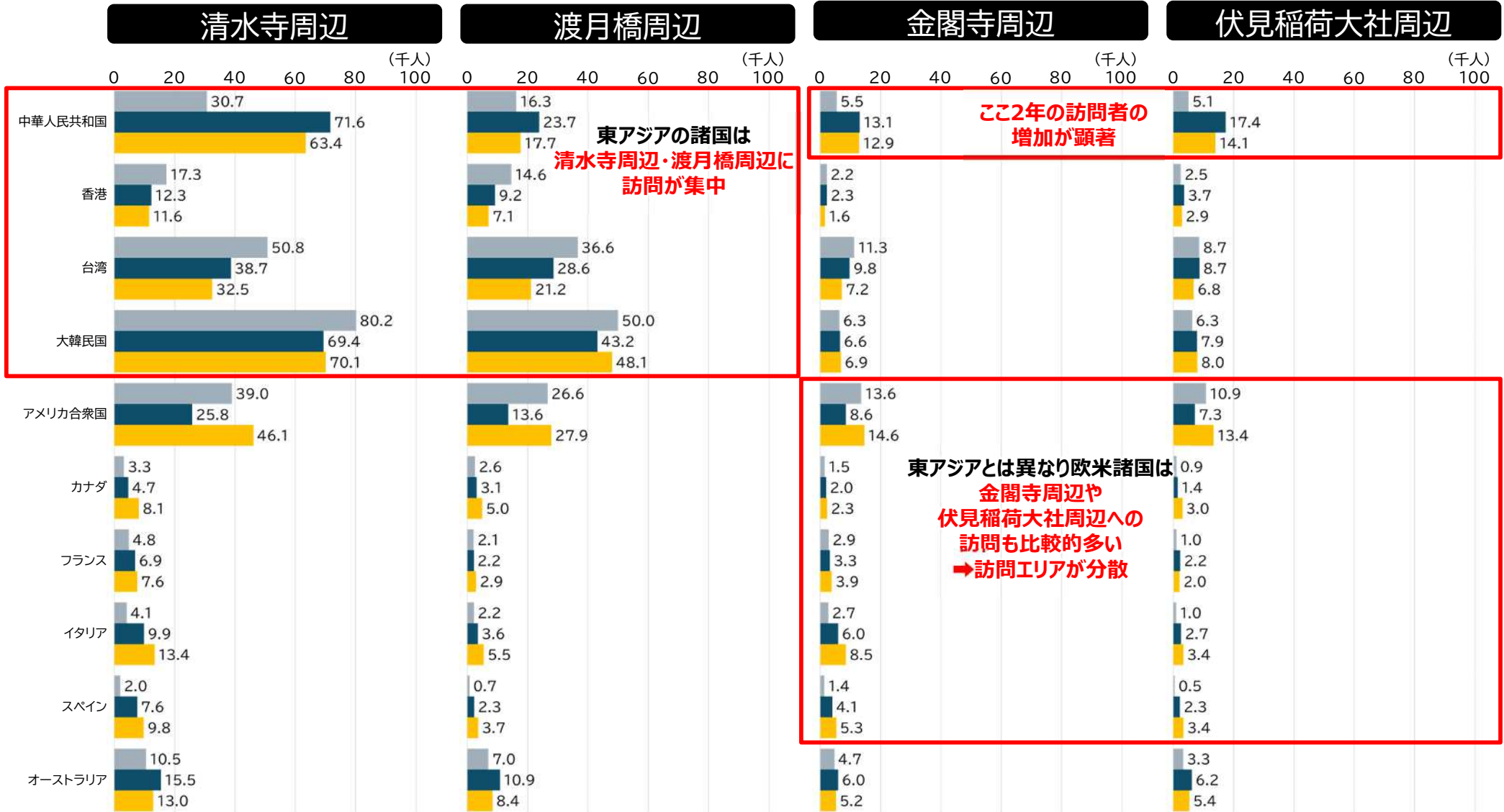
モバイル空間統計®(推計来訪者数)

- 訪日外国人は観光地ごとに来訪規模や比率に差があり、清水寺は80万人規模で訪日外国人比率が約5割と突出。
- 一方、金閣寺・伏見稻荷大社は訪日外国人が増加する一方で総数は概ね横ばい、渡月橋は減少傾向。



(出典) (株)ドコモ・インサイトマーケティング モバイル空間統計®
 期間：令和5年11月，令和6年11月，令和7年11月 全日計10:00～17:59
 数値は3次メッシュ（1km四方）における1時間以上の滞在者を示す。国内観光客は集計対象メッシュ周辺に居住地または勤務地をもたない人を指す。
 ※地域は国際連合の統計用標準国・地域コードUN M.49に基づき、一部集約。

- 東アジアの諸国は訪問者数が多いことに加え、清水寺周辺や渡月橋周辺に集中。
- 欧米諸国は直近3年で**最多の滞在者数**となる一方、中国・香港・台湾は清水寺・渡月橋周辺で**減少**。



(出典) (株)ドコモ・インサイトマーケティング モバイル空間統計® 期間：令和5年11月、令和6年11月、令和7年11月 全日計10:00~17:59
 数値は3次メッシュ（1km四方）における1時間以上の滞在者を示す。国内観光客は集計対象メッシュ周辺に居住地または勤務地をもたない人を指す。
 ※掲載国は令和7年11月の京都市におけるのべ滞在者数が多い上位10か国

3. 国内観光客（市外来訪者）の 動向

使用データ：人流データ(点列)

- ※資料内の来訪者数は、取得元アプリユーザー数をもとに実数拡大した値を使用
- ※データソースが異なるため、他資料の数値と一致しない場合がある

主要観光地の滞在時間帯の分布 : 国内観光客(市外来訪)

国内観光客 (市外来訪者)

- 各観光地の時間分布を見ると、集中する時間帯は多少の差はあるものの、**多くの地点で10～16時頃に集中**。
- 一方、**早朝や夜間に一定の来訪がみられるエリアが存在しており、参拝・拝観の早朝対応やライトアップ・夜間イベントの開催**が来訪者の時間分散につながっている。

■各エリアの滞在時間分布

凡例：3%未満 10%未満 20%未満 25%未満 30%未満 40%未満 40%以上

	日來訪者数(千人)		前年同月からの増減人数	時間帯別滞在者割合																	
	R6.11	R7.11		7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時				
錦市場	3.9	3.1	▲ 0.9	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
東山エリア	25.1	22.4	▲ 2.7	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
東福寺・三十三間堂	5.4	6.5	▲ 1.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
伏見エリア	5.0	4.1	▲ 0.9	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
東本願寺・西本願寺	2.5	2.3	▲ 0.2	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
梅小路公園周辺	4.8	4.2	▲ 0.6	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
東寺	2.7	2.6	▲ 0.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
嵐山エリア	15.4	12.8	▲ 2.6	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
金閣寺周辺	3.2	2.4	▲ 0.8	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
仁和寺周辺	3.9	3.4	▲ 0.5	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
北野天満宮周辺	2.2	2.1	▲ 0.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
二条城周辺	2.7	2.1	▲ 0.5	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
京都御所周辺	3.8	3.5	▲ 0.4	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
岡崎エリア	4.2	5.8	▲ 1.6	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
南禅寺・銀閣寺エリア	5.0	6.1	▲ 1.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
修学院エリア	2.2	1.9	▲ 0.3	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
貴船神社・鞍馬寺	3.2	2.1	▲ 1.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
上賀茂神社周辺	1.1	1.2	▲ 0.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
京都府立植物園周辺	1.9	1.4	▲ 0.4	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
京北エリア	0.0	0.0	▲ 0.0	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
高雄エリア	0.8	0.7	▲ 0.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
醍醐寺周辺	1.4	0.9	▲ 0.5	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
山科エリア(毘沙門堂)	0.5	0.5	▲ 0.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
三千院・寂光院	1.6	1.4	▲ 0.3	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
松尾大社周辺	1.3	1.1	▲ 0.3	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	
大原野神社・桂離宮	0.3	0.4	▲ 0.1	R6.11 R7.11	早朝からの参拝・拝観が可能											13～15時台に人が集中				ライトアップの開催	

(出典) ジオテクノロジーズ(株) 人流データ(点列データ)

対象期間：令和6年11月、令和7年11月 休日 集計対象：観光客(京都市非関連者) 滞在条件：20分以上の滞在
 ※次の条件に当てはまらない人 ①京都市居住または勤務者 ②各年11月の1ヶ月間に7日以上京都市内を訪れた人 ③80歳以上

日中に集中

- 東山エリア全体では国内観光客は**減少傾向**にあるものの、現地では**混雑が継続して発生**。
- 混雑が単純な来訪者総数の増減ではなく、**特定の時間帯や特定の空間への集中**によって生じている可能性を示している。
- 訪日外国人の影響も大きいですが、本分析では**国内観光客に焦点**を当て、東山エリアの中でも**特に人が集中する三年坂・清水坂周辺**を対象に、来訪者の行動特性に分析する。

■ 集計エリア・ゾーンの定義



R7.11 清水坂の状況



■ 三年坂・清水坂周辺における国内観光客の動向把握の進め方

「誰が」「どのように訪れ」「いつ集中するのか」を整理し、混雑の背景にある行動特性を明らかにする。

課題： 東山エリアの国内観光客は減少したが、三年坂・清水坂周辺では混雑が継続。

属性

属性別の経年変化の確認

着目点 減少は全体的な傾向か、特定の性別・年代に偏っているのかを把握する。

行動

周遊状況の経年変化の確認

着目点 総量減少だけでなく、東山エリアへの訪問の仕方に変化があるかを確認する。

東山エリアの位置付けの確認

着目点 東山エリアが周遊の起点・終点・中間地のどこに位置づけられているかを把握する。

時間

時間帯別の滞在状況の確認

着目点 来訪者数の減少の中で、ピーク時間帯の集中構造が維持されているかを確認する。

ピーク滞在者の特徴

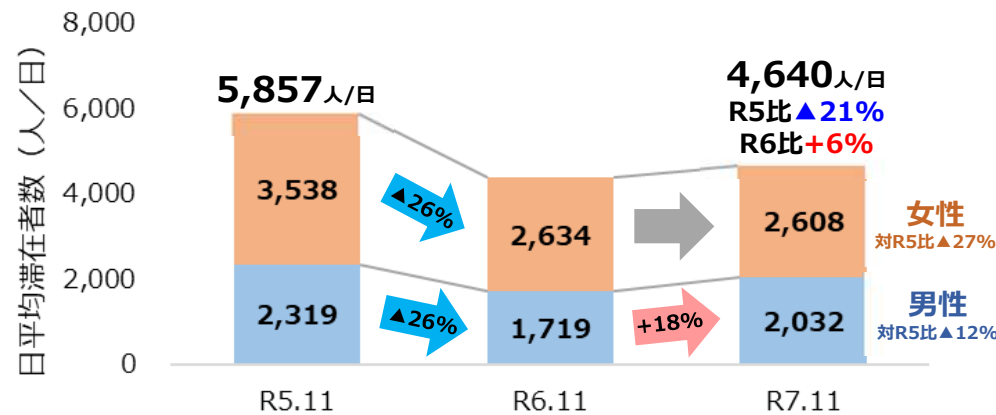
着目点 ピーク時間帯の滞在者の行動特性を確認し、混雑要因を整理する。

目標： 国内観光客の集中を生む行動特性を明らかにし、時間分散に向けた着眼点を得る。

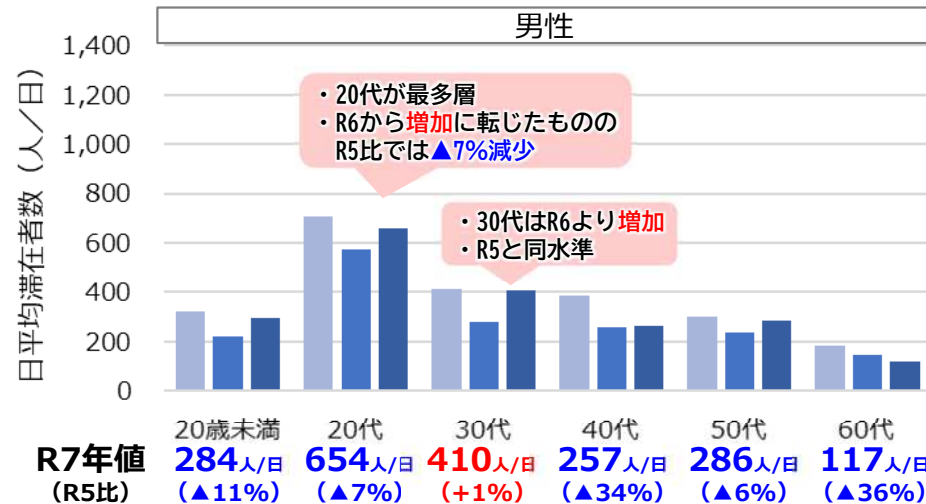
国内観光客（市外来訪者）

- 三年坂・清水坂周辺の国内観光客滞在者数は、R7.11時点で4,640人/日（R5比▲21%，R6比+6%）。
- R7はR6から**増加傾向**であり、その主因は**男性滞在者の増加**である。
- 年代別では**20代が最多層**で、R6は**男性が増加**している一方、**女性はR5比で約2割減少**が継続。
- 総量はR5と比べて減少しているが、性別・年代により増減傾向が異なり、**属性構成に変化が生じている**。

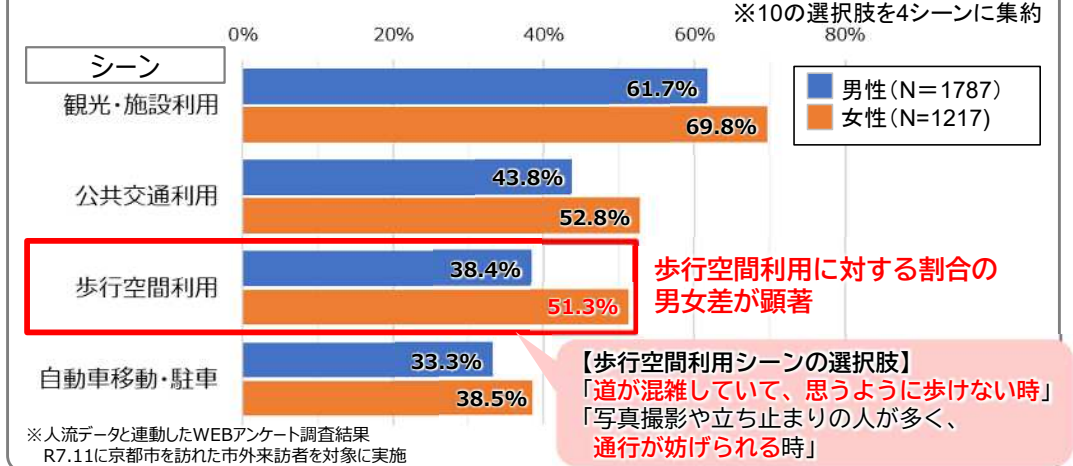
■ 三年坂・清水坂における滞在者数の経年変化



■ 性別年代別の滞在者数の経年変化



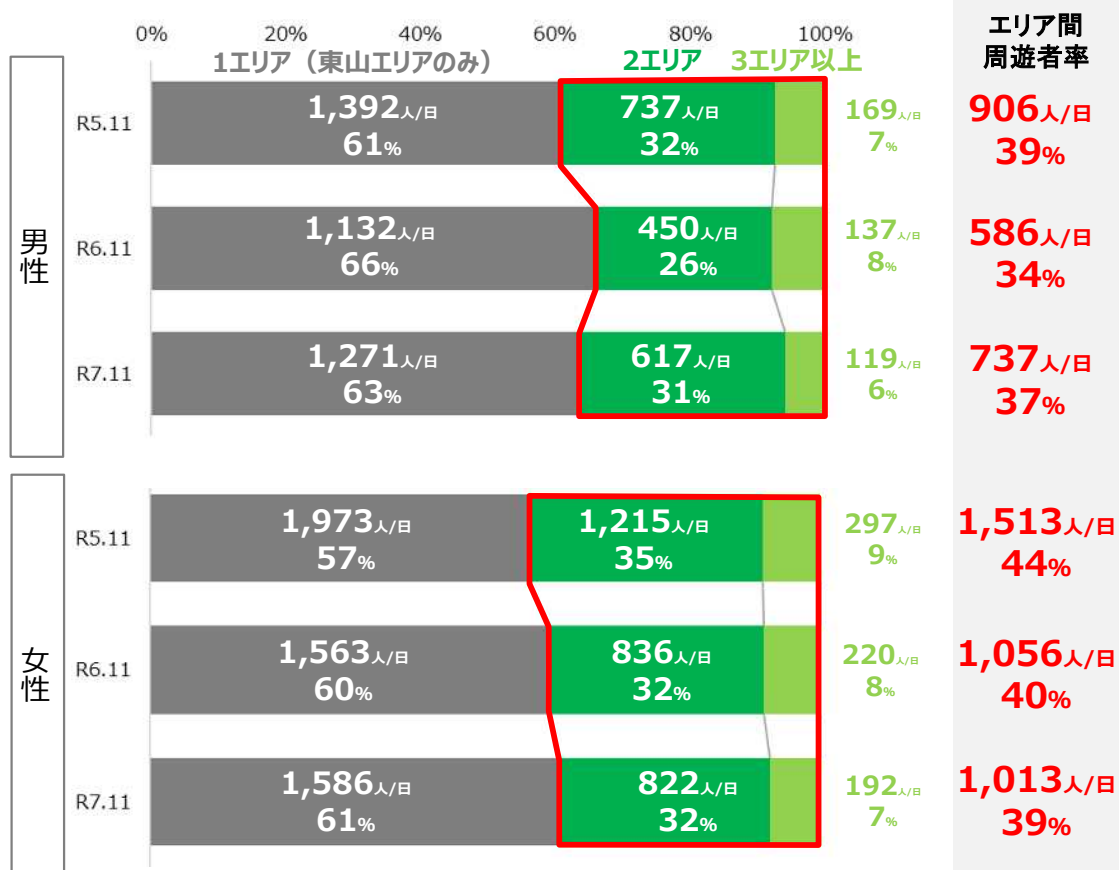
■ 日常生活等で人混みや混雑にストレスを感じる割合



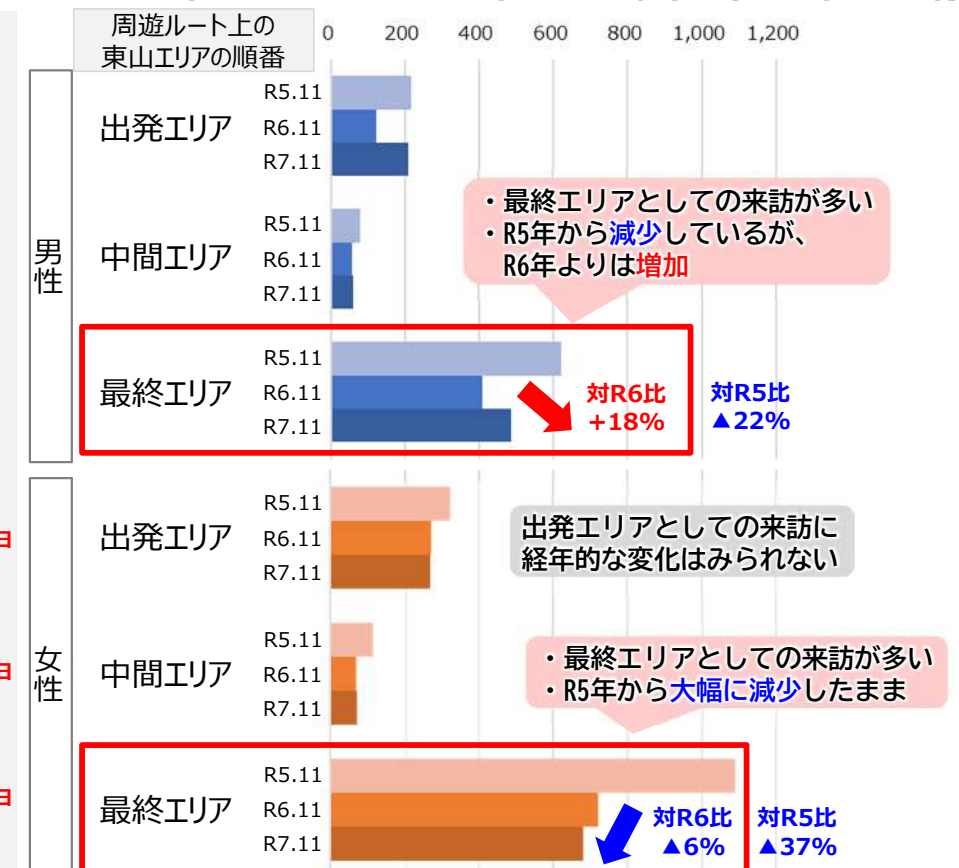
(出典) ジオテクノロジー(株) 人流データ(点列データ) 対象期間: 令和5年11月, 令和6年11月, 令和7年11月 休日
集計対象: 観光客(京都市非関連者は①京都市居住または勤務者 ②各年11月の1ヶ月間に7日以上京都市内を訪れた人にはまらない人), 滞在条件: 20分以上滞在, 年齢条件: 15歳以上~70歳未満

- 三年坂・清水坂周辺におけるエリア間周遊者は、男女ともに約4割で、女性の方がわずかに高い傾向にある。
- R7の周遊者数は、男性が**増加**している一方、女性はR7で**減少**しており、**周遊行動に性別差**がみられる。
- 周遊者の訪問順を見ると、**東山エリア**は男女とも「**最終訪問地**」として**選択される傾向**が強い。
- 出発地として利用するケースも一定数ある一方、**中間地としての利用は限定的**である。

■ 訪問エリア数の動向



■ 周遊ルート上の東山エリアの訪問順番の傾向（エリア間周遊有）

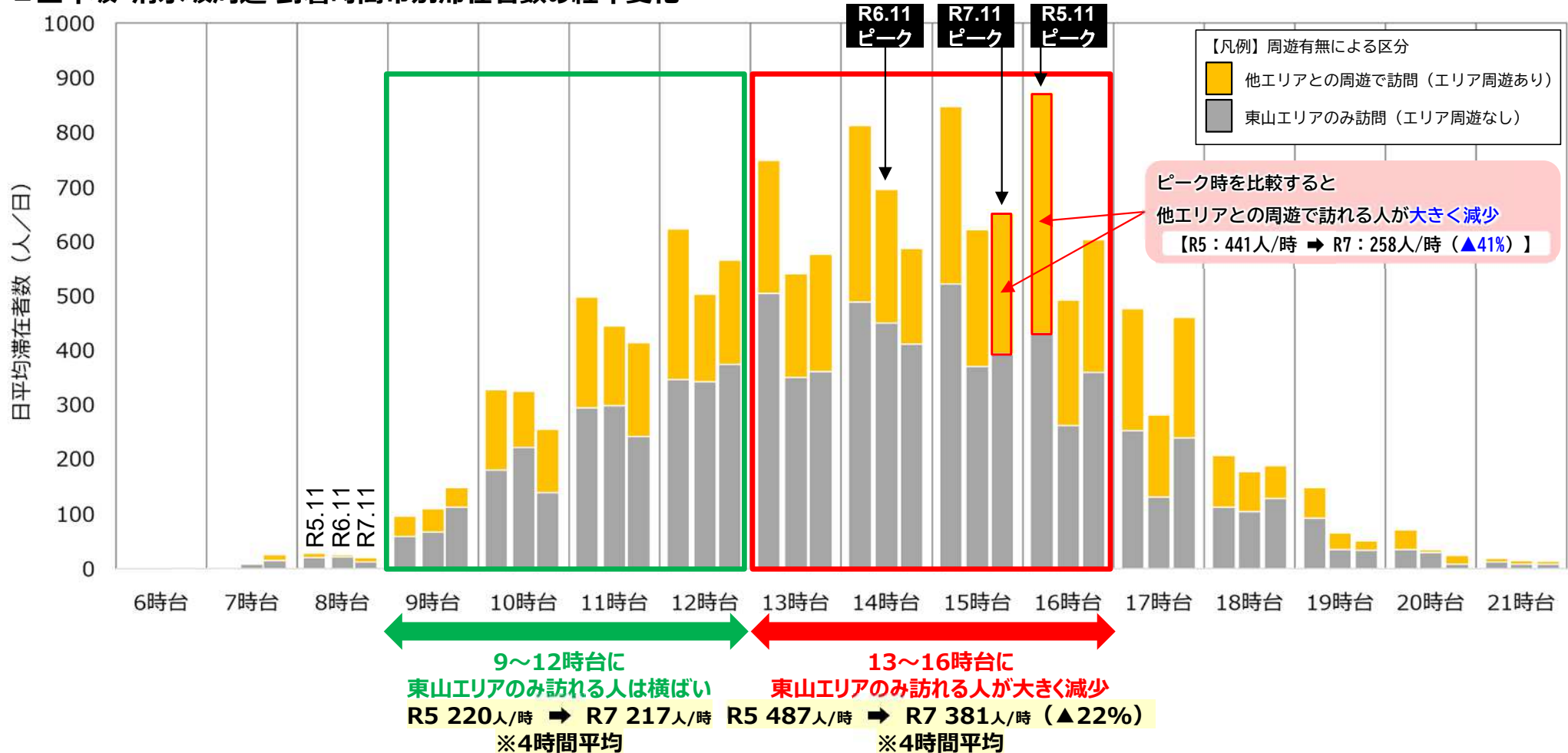


東山エリアが周遊ルートの最終エリアとして選択される傾向
 → 周遊者の特定の時間帯への集中が生じている可能性

(出典) ジオテクノロジー(株) 人流データ (点列データ) 対象期間：令和5年11月, 令和6年, 令和7年11月 休日
 集計対象：観光客（京都市非関連者は①京都市居住または勤務者 ②各年11月の1ヶ月間に7日以上京都市内を訪れた人にはまらない人）, 滞在条件：20分以上滞在, 年齢条件：15歳以上～70歳未満

- ピーク時間帯は年によって変動しているが、いずれも**午後**に集中。（R5：16時台 | R6：14時台 | R7：15時台）
- ピーク時間帯においては、他エリアとの周遊で訪れる人が**41%減少**（R5比）
- 午前（9～12時台）は、東山エリアのみを訪れる人は3年間で概ね横ばい。
- 一方、午後（13～16時台）は、東山エリアのみを訪れる人は**22%減少**（R5比）

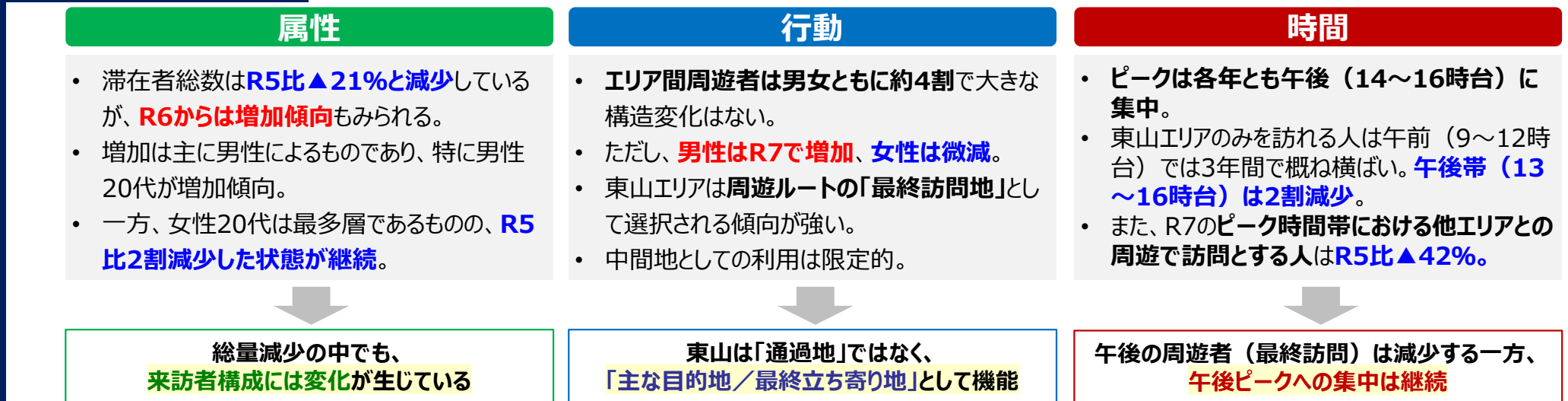
■三年坂・清水坂周辺 到着時間帯別滞在者数の経年変化



（出典）ジオテクノロジーズ(株) 人流データ（点列データ） 対象期間：令和5年11月、令和6年、令和7年11月 休日
集計対象：観光客（京都市非関連者は①京都市居住または勤務者 ②各年11月の1ヶ月間に7日以上京都市内を訪れた人にはまらない人）、滞在条件：20分以上滞在、年齢条件：15歳以上～70歳未満

- 三年坂・清水坂周辺では、国内観光客の総量はR5と比べて減少しているものの、混雑は依然として発生。
- 属性・周遊行動・時間帯の3視点から整理すると、混雑は来訪者総数の増減ではなく、「午後帯への集中」と「エリア間周遊の傾向（最終訪問）」の重なりによって生じている可能性。
- これらの分析結果を踏まえ、観光構造の特徴と今後の検討視点を以下に整理。

本分析結果の要点



観光構造

- ・ 午後帯に他エリアとの周遊で東山を訪れる行動様式が、混雑を形成してきた一因である可能性。
- ・ 近年縮小しており、特に若年層の女性で顕著にみられるが、訪問時間帯が集中する構造自体は残存。

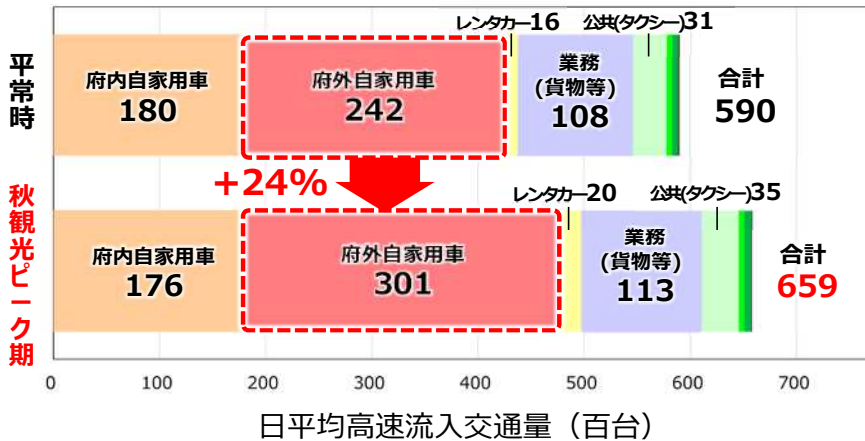
今後の混雑対策に向けた検討視点

前提	訪日外国人の増加の影響から、国内観光客の総量の減少だけでは現地の混雑状況は改善されない。
国内観光客	<ul style="list-style-type: none"> ① 午前は近年訪問者数は横ばい → 混雑が少ない状況が想定され、受け入れ余地の可能性 ② 午後にピークが集中 → 午後ピークに訪れる人が時間分散のメインターゲット（③も含む） ③ 東山エリアが周遊の最終エリアとして選択されやすい → モデル周遊ルート設計
訪日外国人	訪日外国人は観光客全体に占める割合が拡大しており、日本人とは異なる行動特性を有する。その特性を分析した上で、行動変容施策の検討が別途必要。

4. 京都市内の交通状況

- 休日に高速ICから京都市内へ流入する交通は、**秋の観光ピーク期に府外ナンバーの自家用車が増加**。
- 特に、**名神高速からの流入が多く**、東山や嵐山等の**観光地へのアクセスが良いインター**では**大幅に増加**する傾向にある。
- 観光ピーク期には**中距離圏（中部/北陸/中国/四国等）**からの流入が増加し、**全体の約3分の1**を占める。

■ 休日に高速ICから流入する車種別交通量



■ 秋観光ピーク期に増加する流入自家用車の属性

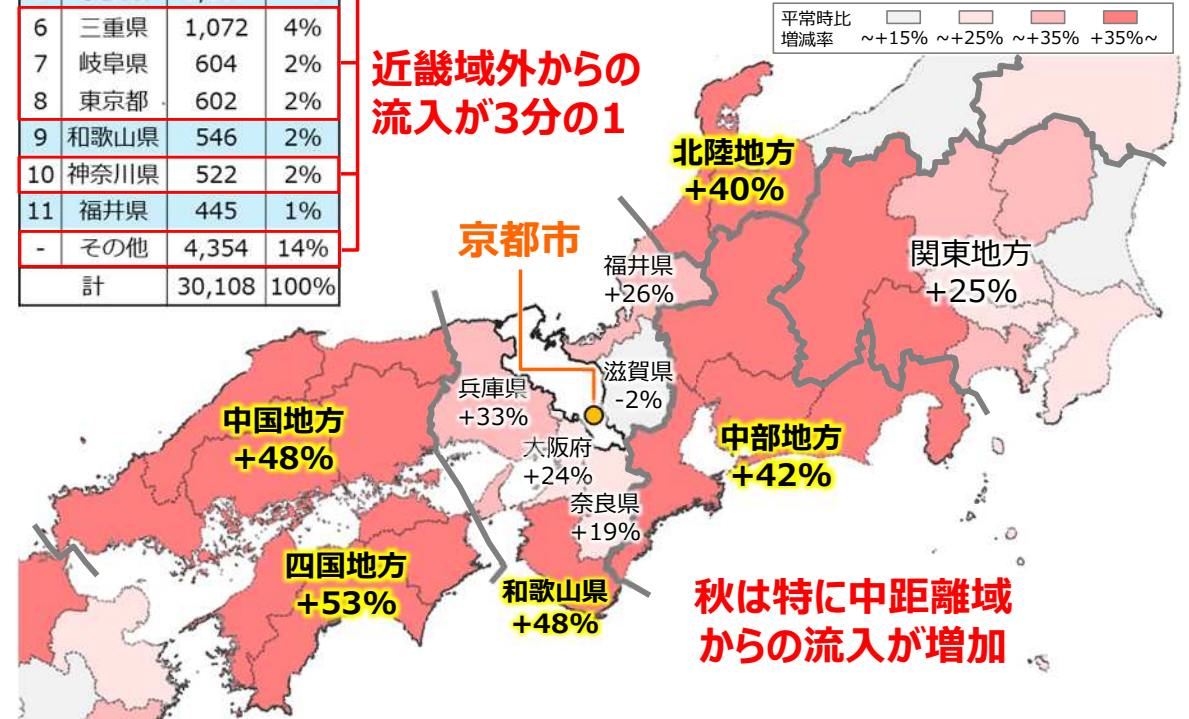
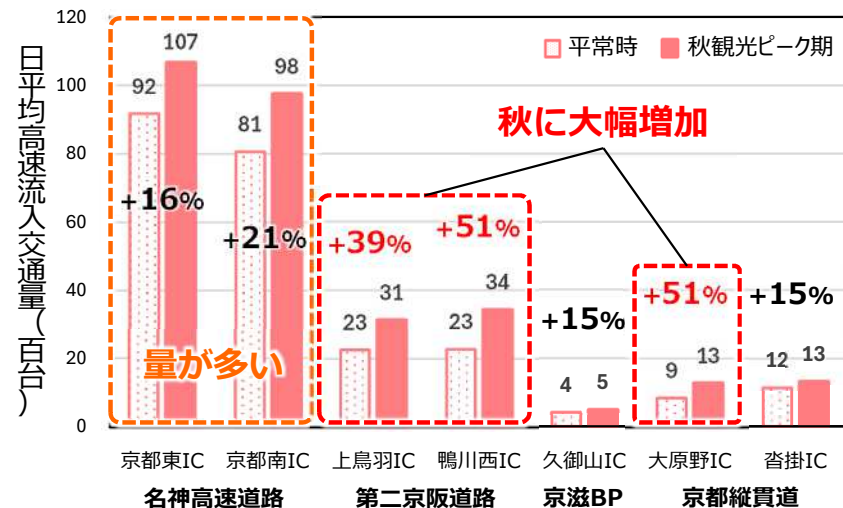
秋観光ピーク期に流入した府外自家用車の車籍地

Rk.	都道府県	流入台数	割合
1	大阪府	9,742	32%
2	滋賀県	4,413	15%
3	兵庫県	4,158	14%
4	愛知県	2,545	8%
5	奈良県	1,105	4%
6	三重県	1,072	4%
7	岐阜県	604	2%
8	東京都	602	2%
9	和歌山県	546	2%
10	神奈川県	522	2%
11	福井県	445	1%
-	その他	4,354	14%
計		30,108	100%

※青ハッチ：近畿

＜出典＞ NEXCO西日本 ETCデータ
 ＜集計対象IC＞ 名神京都東IC・京都南IC、
 第二京阪上鳥羽IC・鴨川西IC、京滋BP久御山IC
 京都縦貫大原野IC・沓掛ICの7インター
 ＜期間＞ 平常時：R7.7.5,6,12,13、
 秋観光ピーク：R7.11.22,23,24,29,30

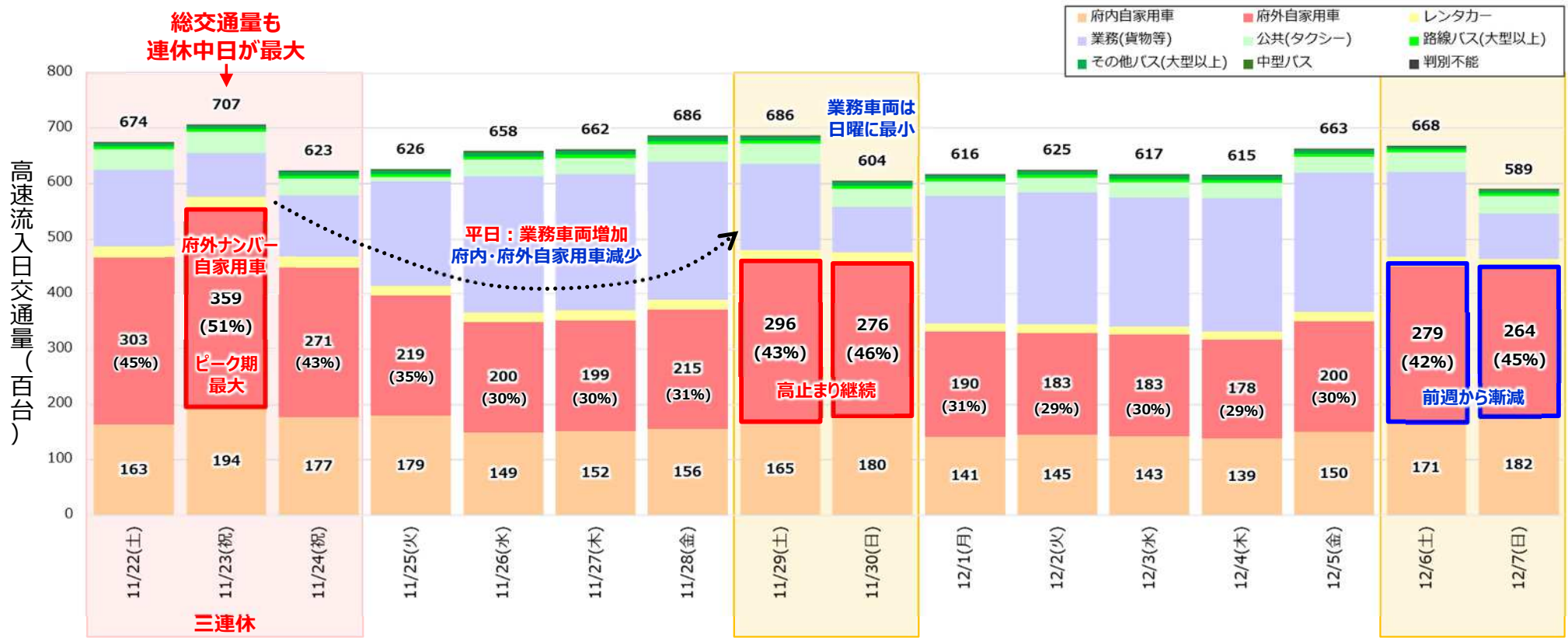
■ 府外自家用車が流入する高速IC



流入府外自家用車の平常時/秋観光ピーク期の増減率

- 令和7年の観光ピーク期に高速ICから京都市内への流入交通の特徴として、週末に**府外ナンバーの自家用車が増加**。
(平日は3割程度にとどまる一方、週末は4割以上を占める)
- 特に今年は紅葉の見頃と連休が重なった影響もあり、**連休中日 (R7.11.23) には約3.6万台 (51%) 流入し最大**となり、**総交通量においても平日を上回る水準**。

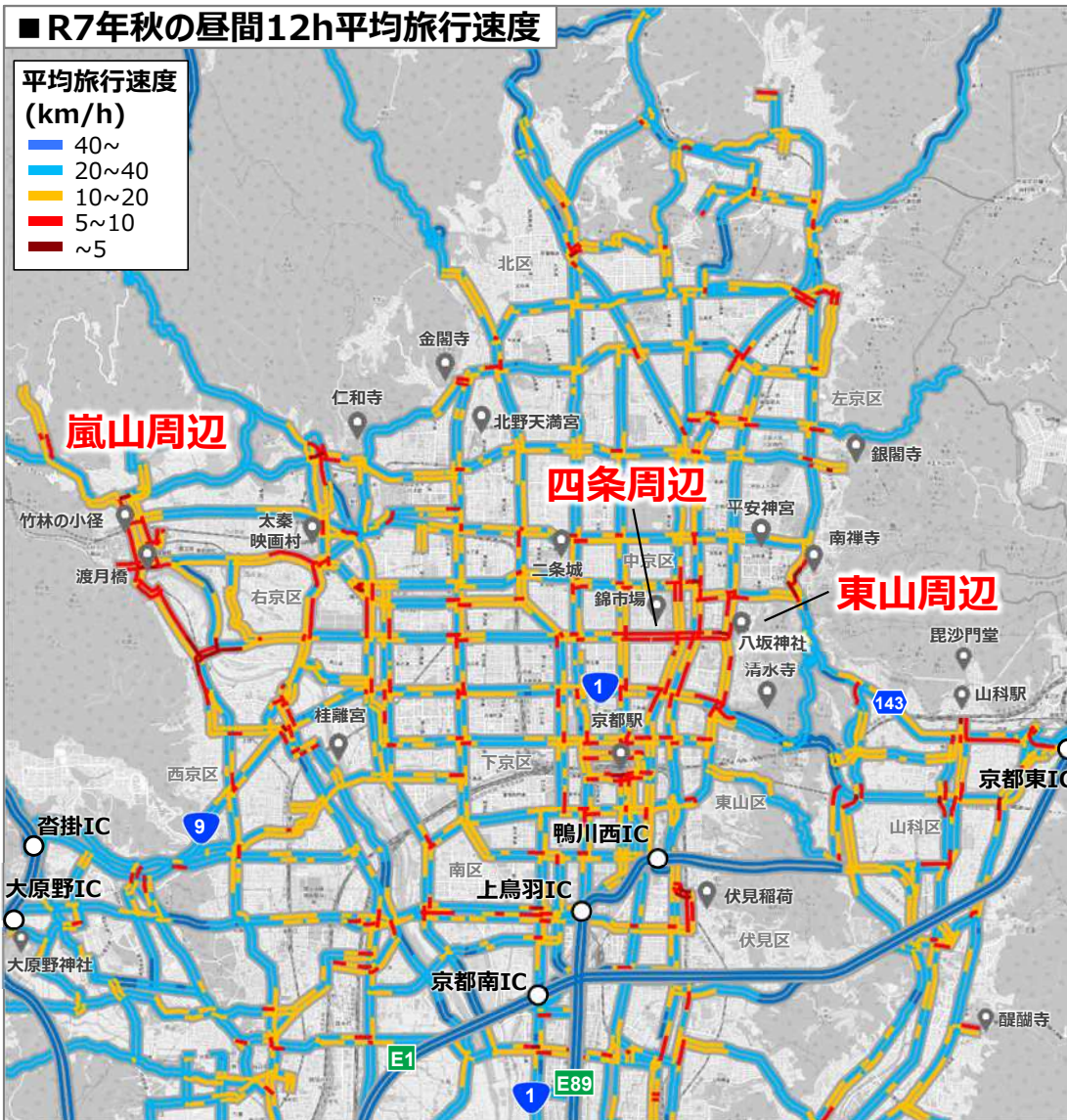
■秋観光ピーク期の高速IC流入方向の車種別日交通量



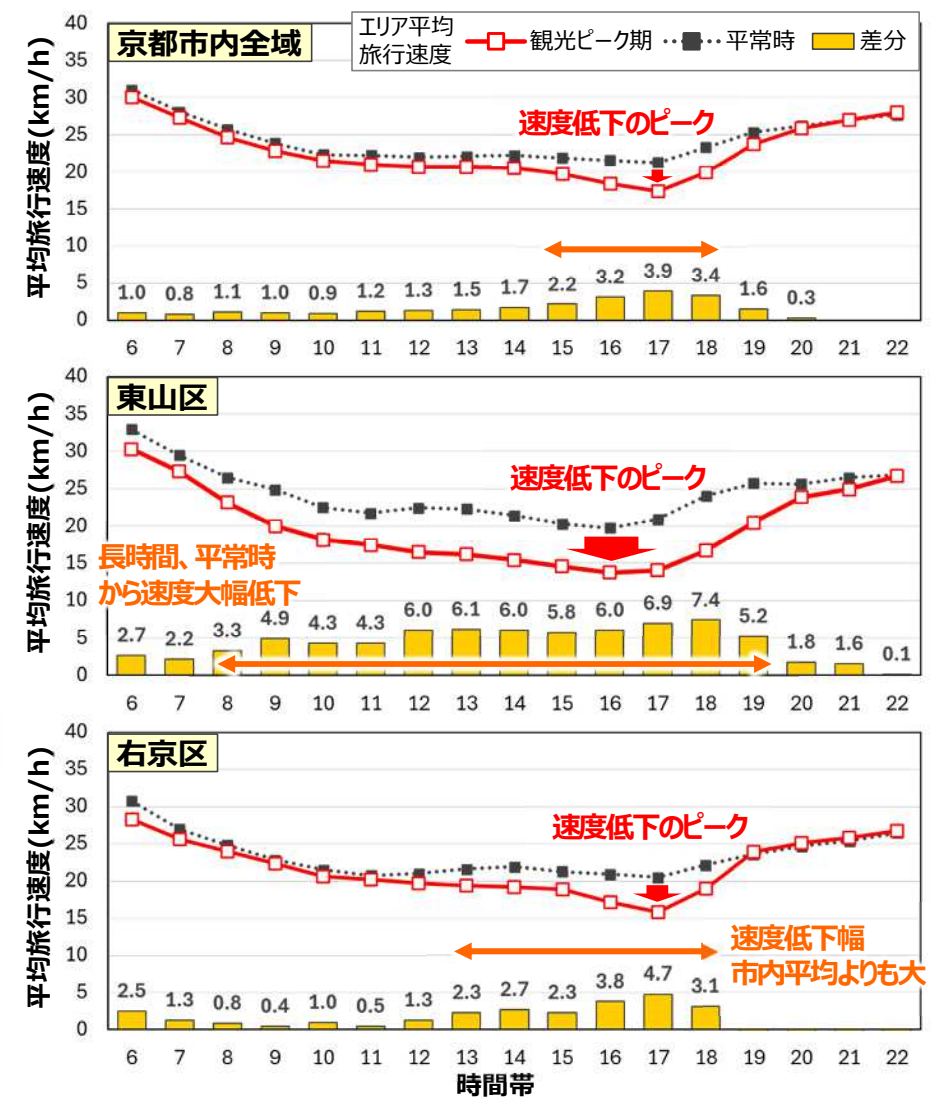
<出典> NEXCO西日本 ETCデータ

※集計対象IC: 名神京都東IC・京都南IC、第二京阪上烏羽IC・鴨川西IC、京滋BP久御山IC、京都縦貫大原野IC・沓掛ICの7インター

- 秋の観光ピーク期(R7年11月下旬)は、繁華街である**四条周辺**や、観光地である**東山・嵐山周辺**で**旅行速度が低下**。
- 特に、東山・嵐山が所在する**東山区・右京区**では、平常時（7月）と比べて**速度低下の度合いが市内平均よりも大きい**。

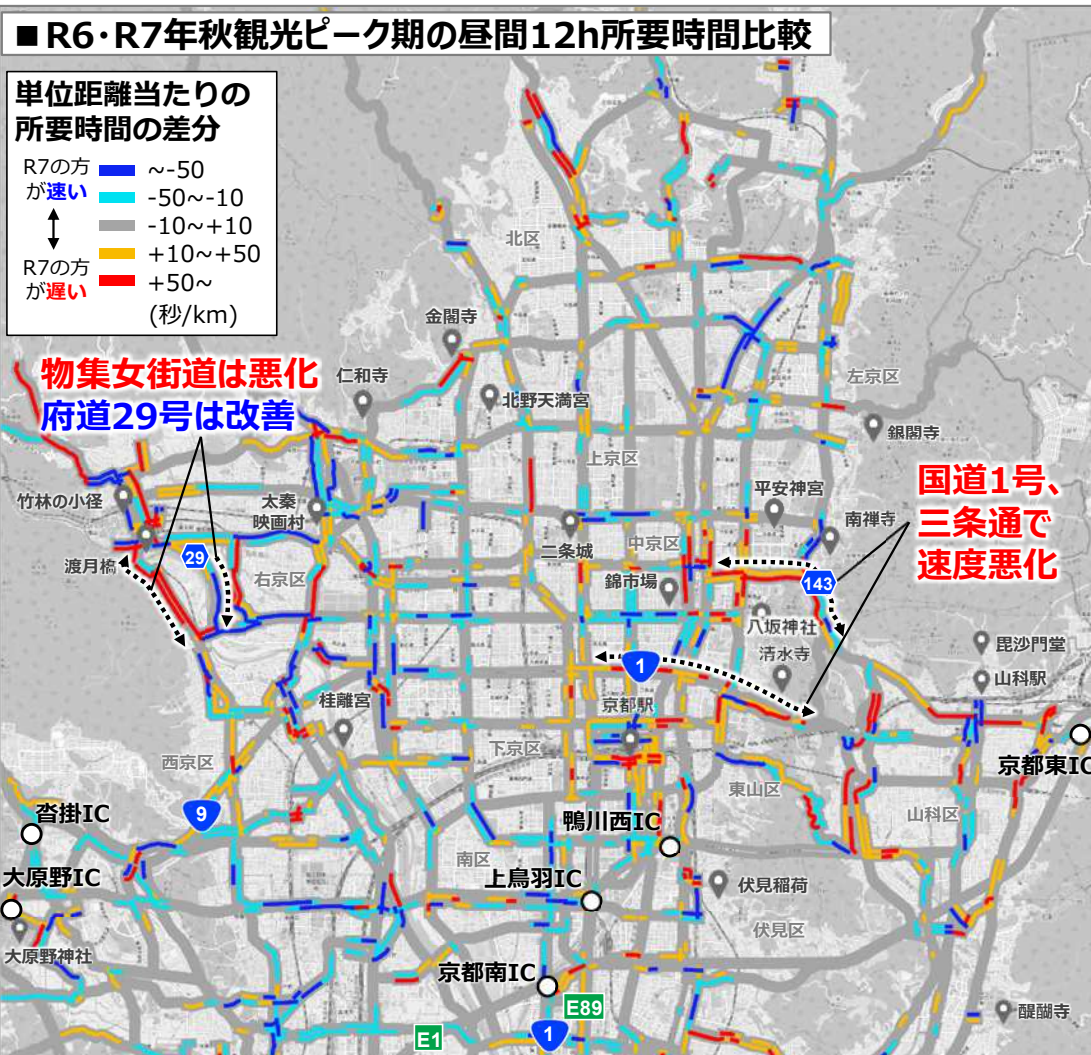


■ エリア別平均旅行速度 [平常時と観光ピーク期との比較]

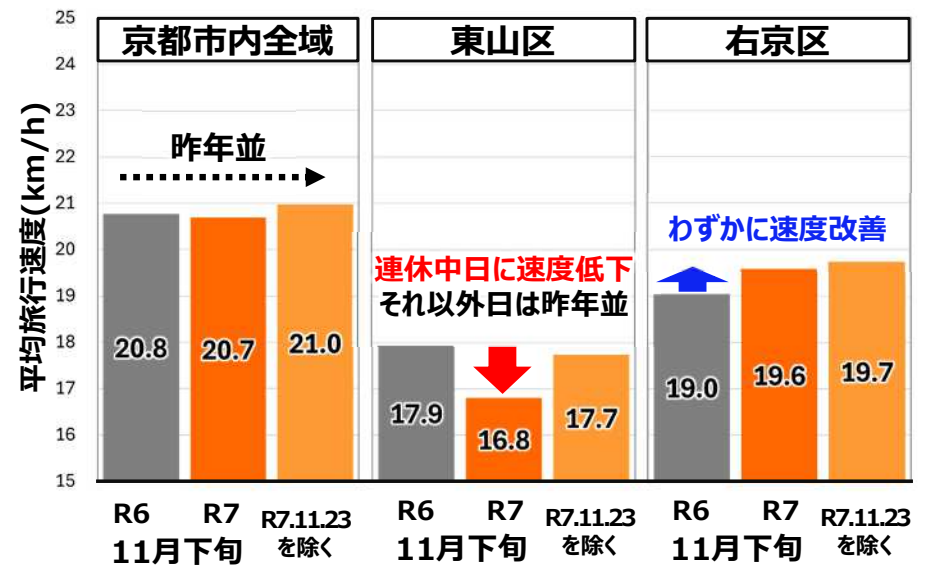


<出典> ETC2.0プローブデータ 様式2-1 (小型車) 期間: 秋観光ピーク期: R7.11.22,23,24,29,30、平常時: R7.7.5,6,12,13
 ※エリア平均旅行速度: 自専道を除く指定市道以上の道路のみ

- 令和7年は令和6年と比べ、東山周辺の国道1号や三条通等で速度低下する一方、嵐山周辺では**悪化した区間と改善した区間**が混在。
- 京都市内全域の旅行速度は令和6年と概ね同水準で、東山区も概ね昨年並みで推移したものの、**連休中日には低下し、右京区ではわずかに改善**。



■ 昼間12hエリア平均旅行速度の前年比較



<出典> ETC2.0プローブデータ 様式2-1 (小型車)
 ※エリア平均旅行速度: 自専道を除く指定市道以上の道路のみ

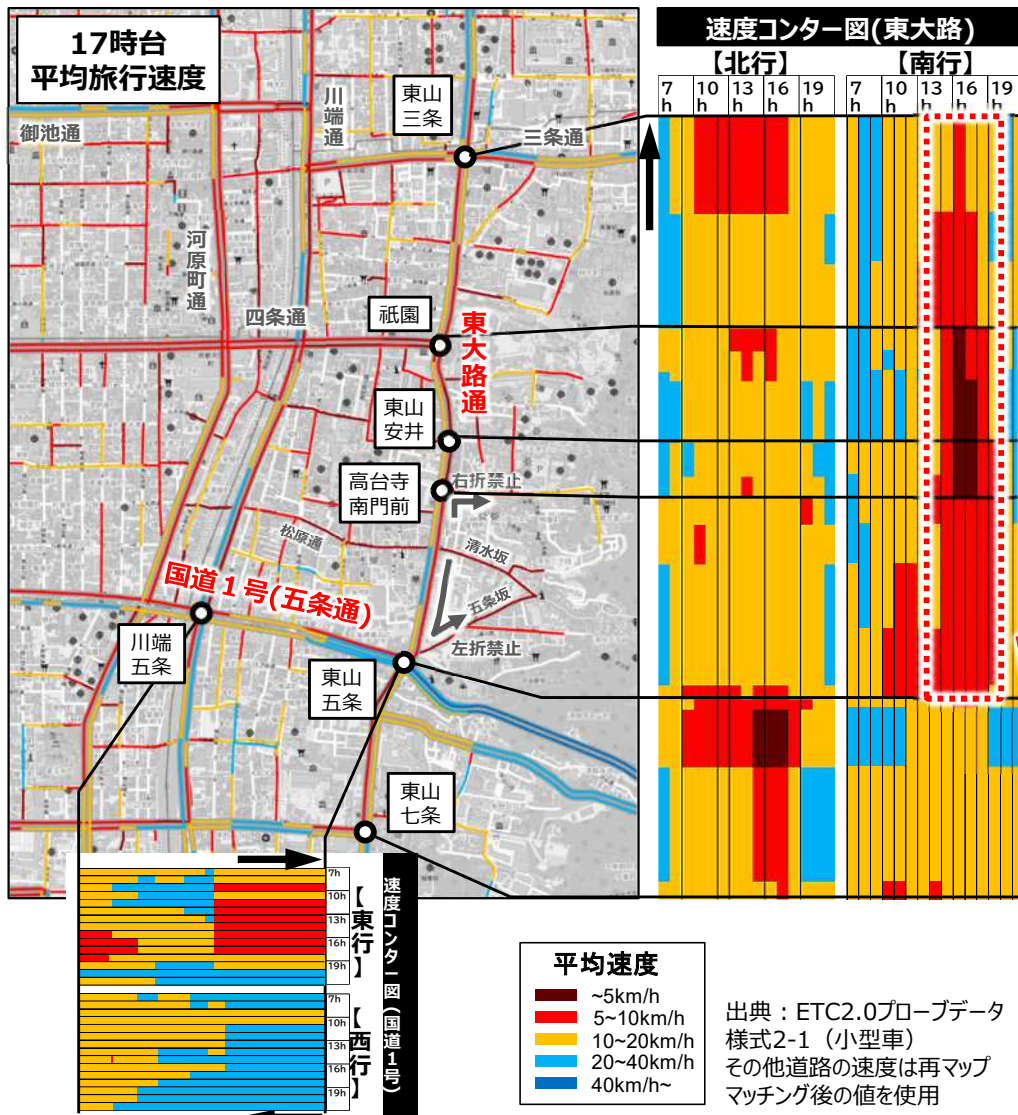
<期間> 11月下旬秋観光ピーク期休日
 R7年: 11.22,23,24,29,30、R6年: 11.23,24,30,12/1
 ※連休中日のR7.11.23を除いたパターンも表示

5. 東山エリアの交通状況

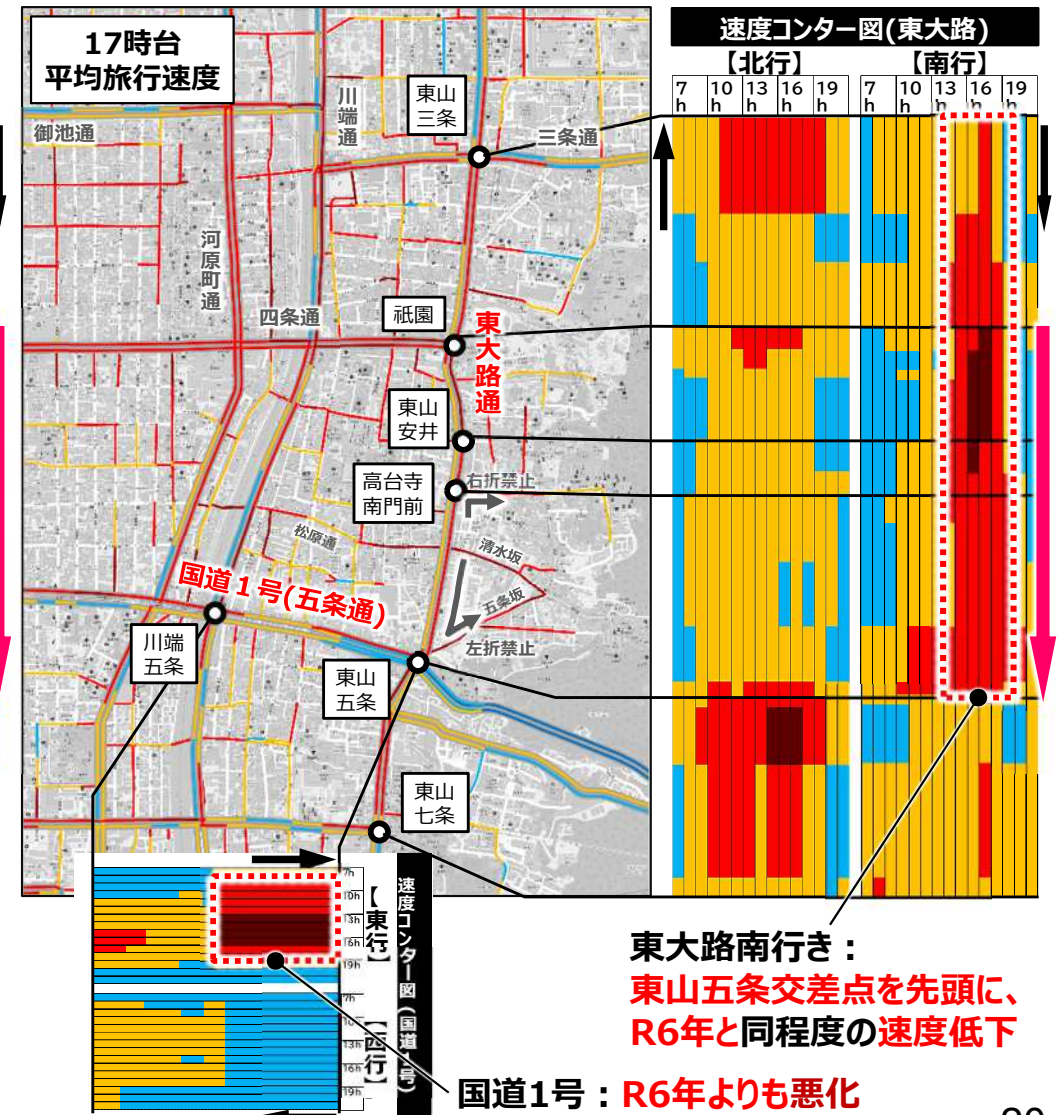
【東山エリア】秋の観光ピーク期の渋滞状況

- 令和7年の東山エリアでは、令和6年と同様に、東大路通南行きおよび清水寺へ向かう国道1号で速度低下が発生。
- 両路線とも東山五条交差点を先頭とする速度低下が見られ、特に国道1号では令和6年秋より低下状況が悪化。

R6年秋観光ピーク期の速度状況 [R6.11/23,24,30,12/1]



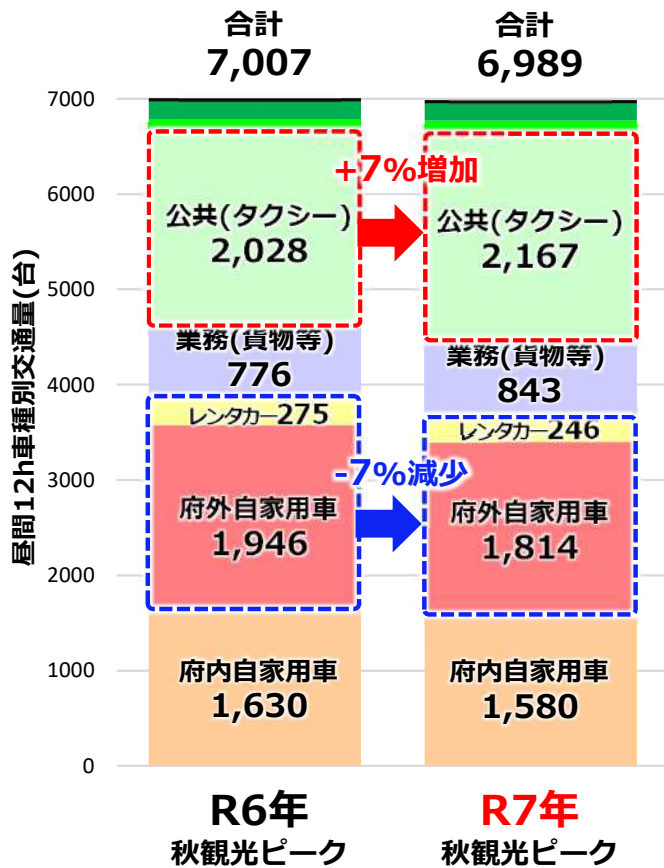
R7年秋観光ピーク期の速度状況 [R7.11/22~24,29,30]



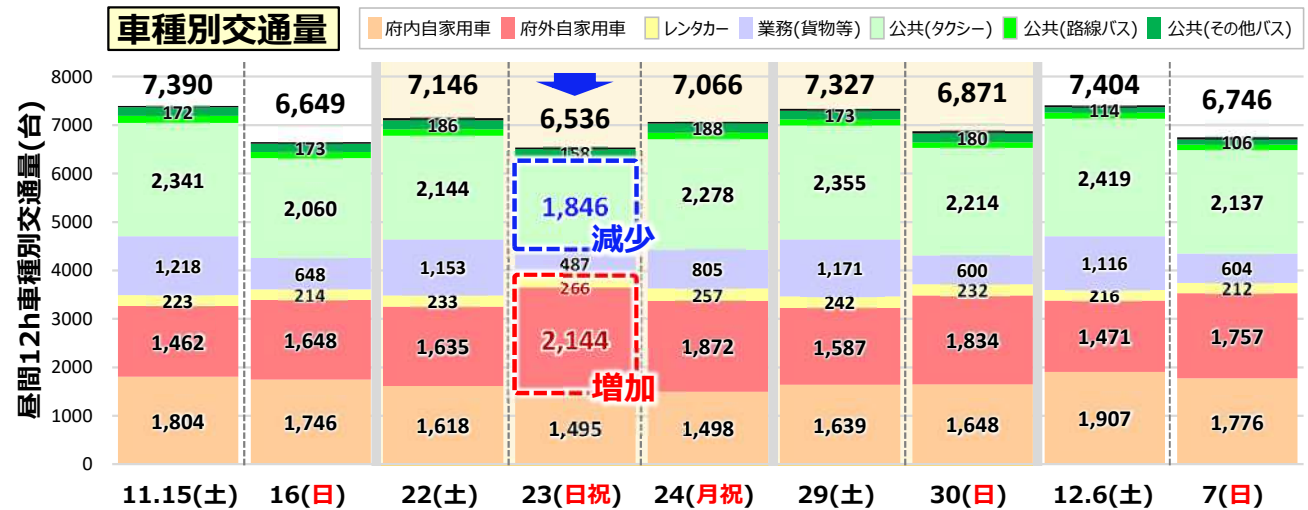
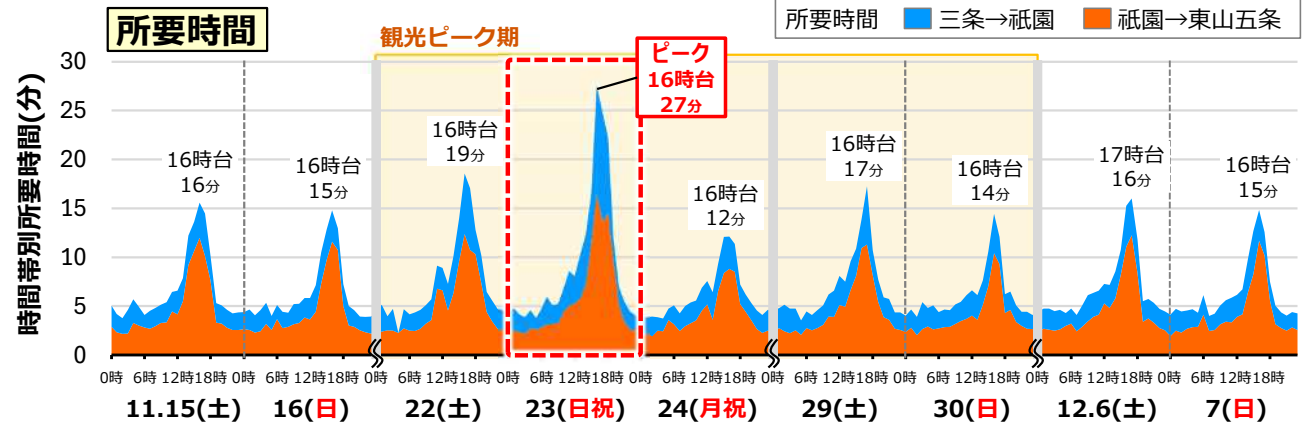
【東大路通南行き】交通構成の変化と混雑状況

- 東大路通南行きの流入交通は、令和6年と総量は概ね同程度だが、**観光目的の自家用車が減少しタクシーが増加**。
- ただし連休中日(R7.11.23)は、**府外自家用車が大幅に増加し、所要時間ピークも突出する特異な混雑が発生**。

■ 秋観光ピーク期の東大路通流入交通 [R6・R7年比較]



■ 東大路通南行きの日別推移 [R7年11月休日]



<期間> 秋観光ピーク期休日平均 昼間12時間交通量
 R7年：11.22,23,24,29,30、R6年：11.23,24,30,12/1

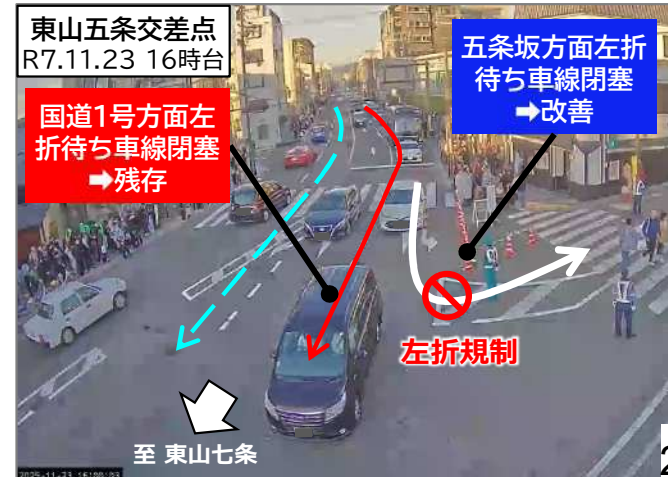
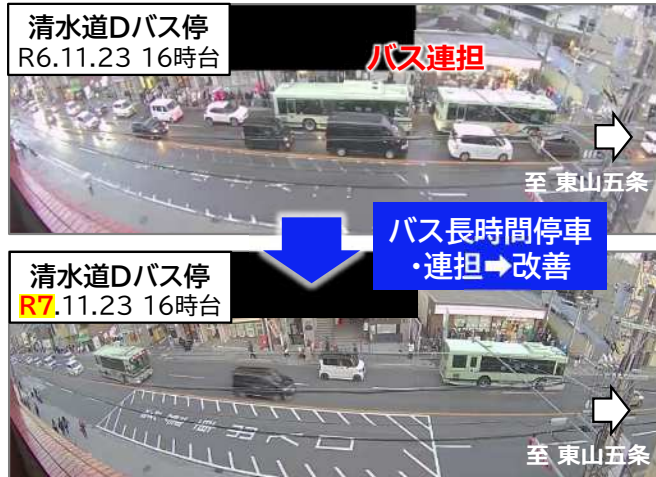
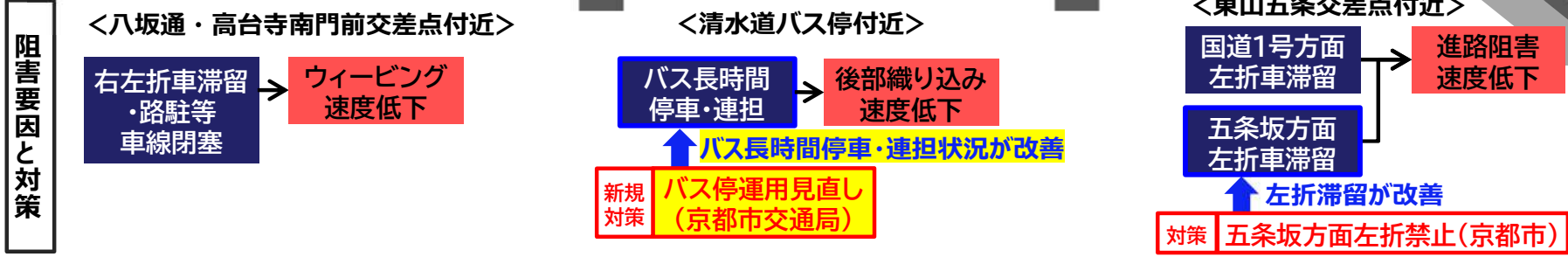
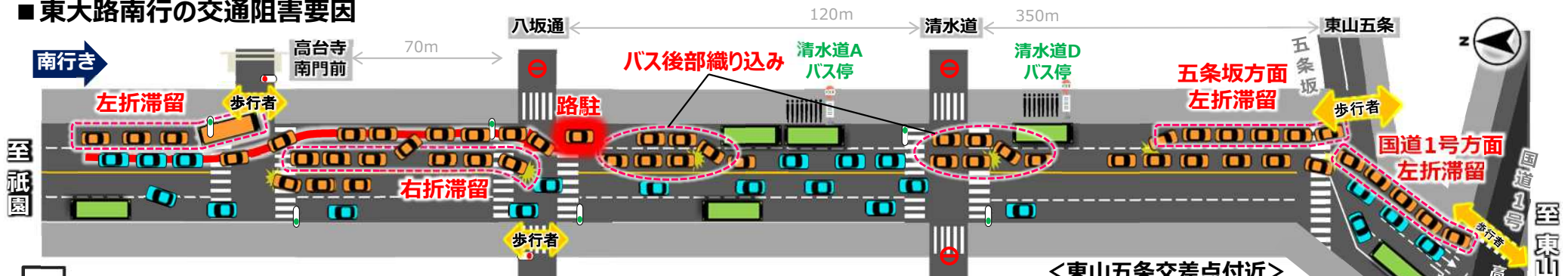
<出典> 交通量：NP調査結果[東大路通(祇園)] 所要時間：ETC2.0プローブデータ 様式2-1 (小型車) 紅葉状況：京都市観光協会



【東大路通南行き】交通阻害要因と渋滞発生構造

- 東大路南行では、観光ピーク期の**需要過多**に加え、容量を低下させる**交通阻害事象**が発生し、道路混雑の悪化を助長。
- 東山五条交差点における交通規制に加え、令和7年は「**清水道バス停の運用見直し**」が実施され、**バス長時間停車・連担状況の改善**を確認。

■東大路南行の交通阻害要因

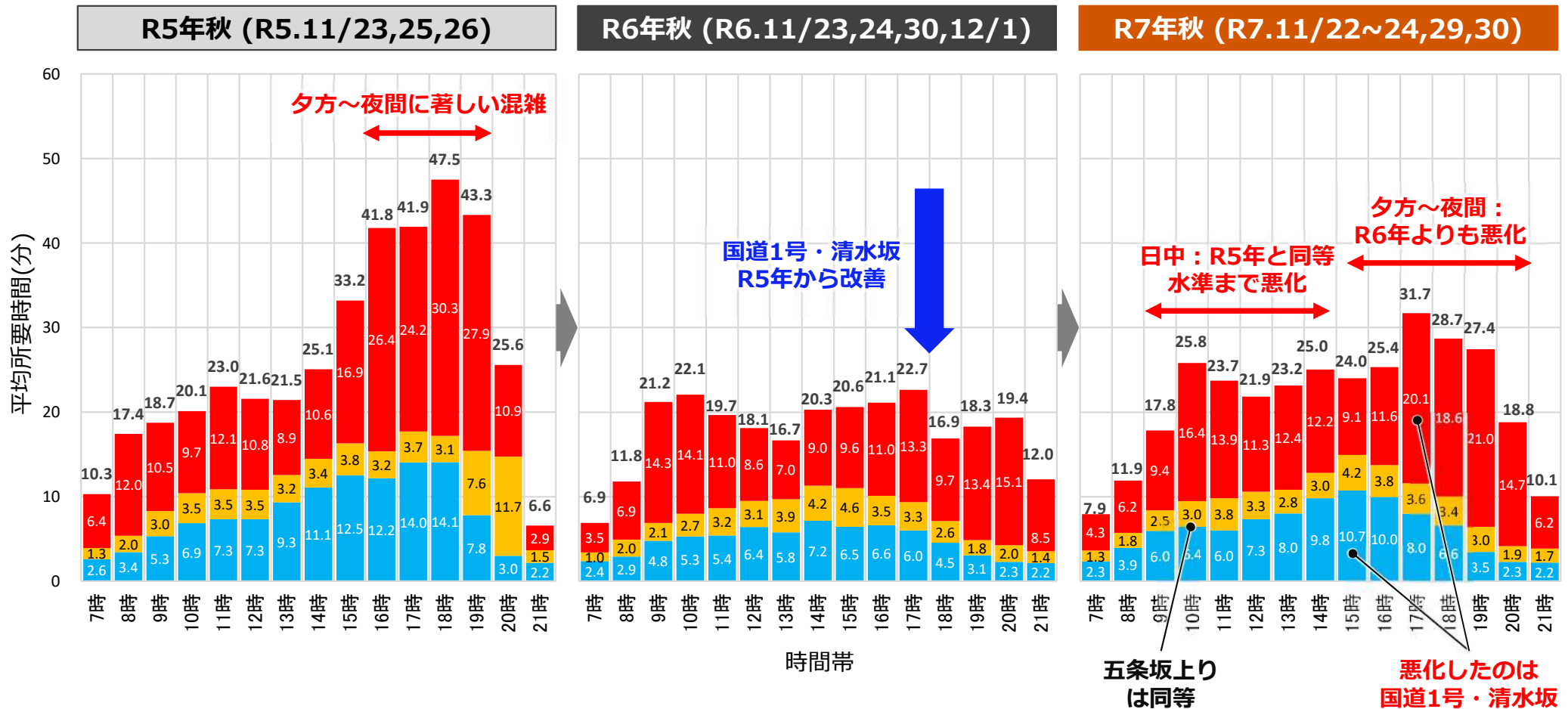


【清水周辺】渋滞状況の経年変化

- 清水地区では、R5年の著しい混雑はR6年に改善したが、R7年は日中にR5年水準まで再び悪化。夜間もR6年より悪化。
- R7年に悪化がみられた区間は国道1号と清水坂で、五条坂はR6年並み。



■所要時間の経年比較 [R5～R7年] (国道1号～五条坂～清水坂)



<期間> 秋観光ピーク期平均 R7年：11.22,23,24,29,30、R6年：11.23,24,30,12/1、R5年：11.23,25,26

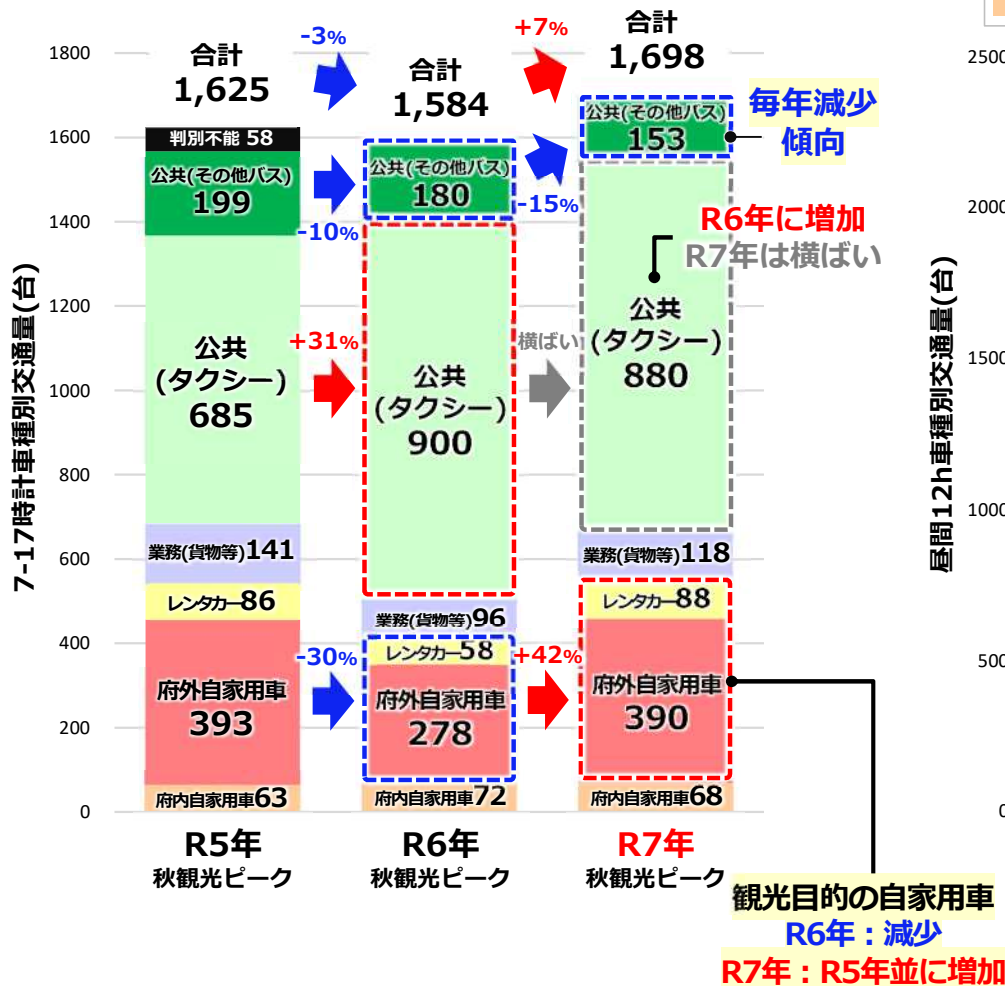
<出典> ETC2.0プローブデータ 様式1-2 (小型車) 再マップマッチング後の値を使用

【清水周辺】流入交通構成の変化

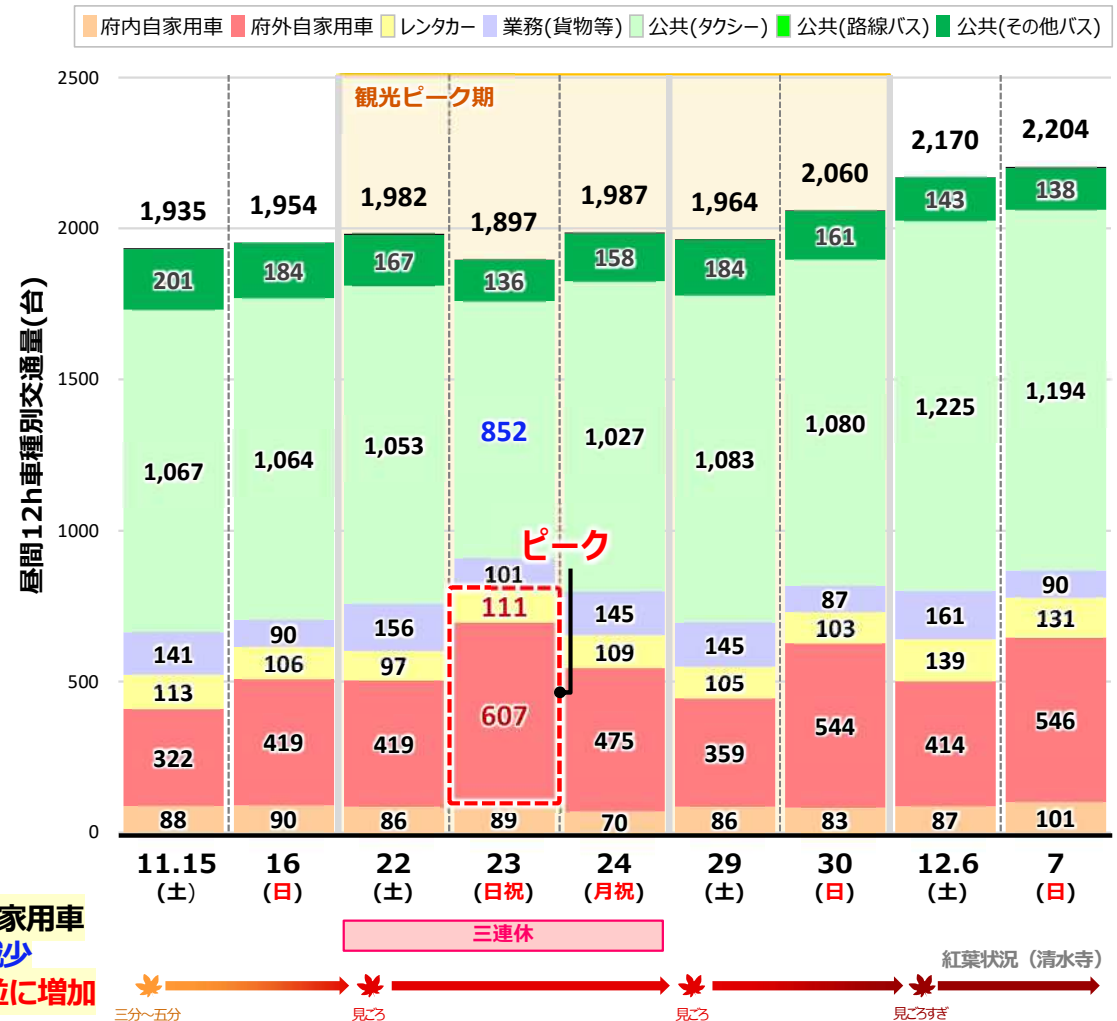
- 清水地区への流入交通は、観光目的の自家用車がR6年に減少したものの、R7年は再び増加しR5年並み。一方、観光バスはR5年から年々減少している。
- 観光目的の自家用車の流入は、連休中日（R7.11.23）に最大。



■ 五条坂の車種別交通量の経年比較 [R5～R7年]



■ 五条坂の車種別交通量の日推移 [R7年秋]



<期間> 秋観光ピーク期平均 7-17時計交通量

R7年：11.22,23,24,29,30、R6年：11.23,24,30,12/1、R5年：11.23,24,25

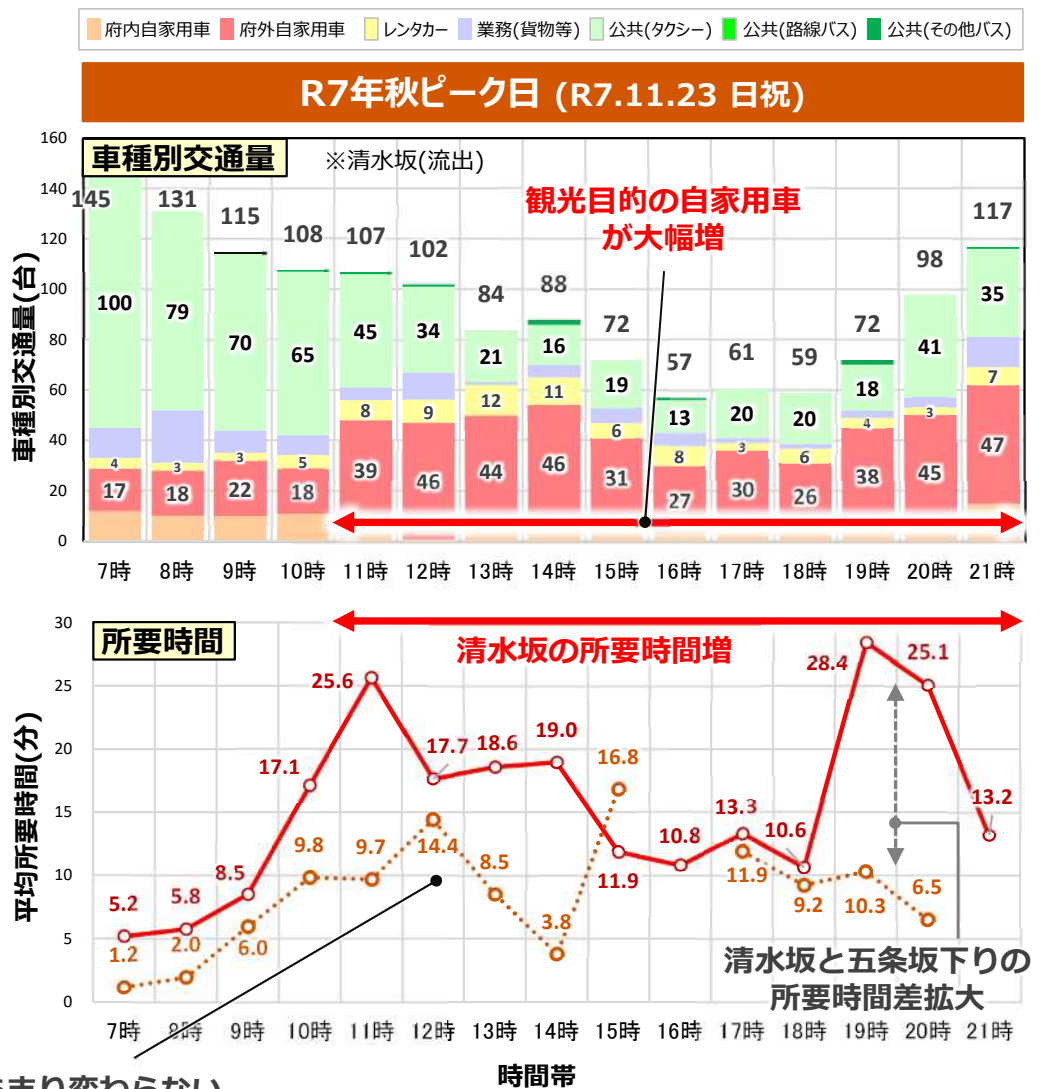
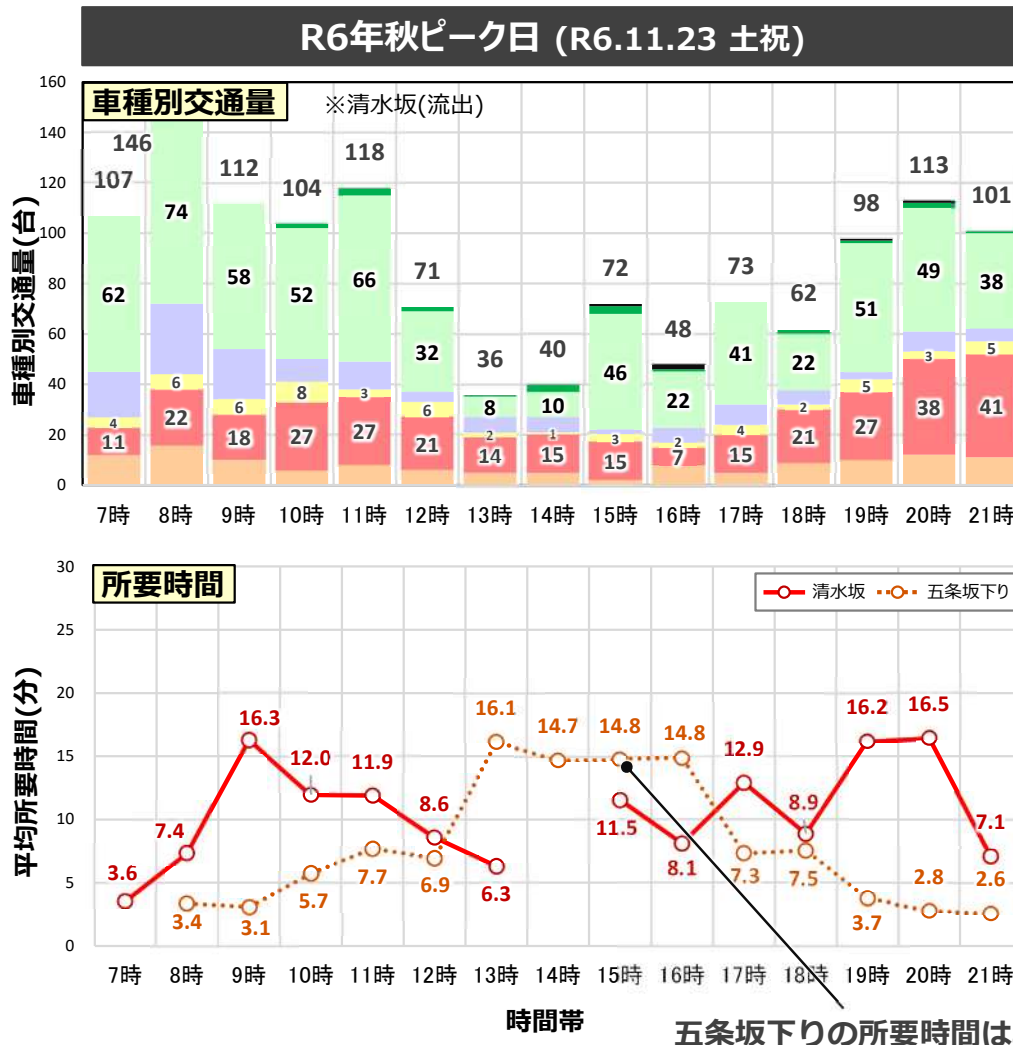
<出典> 交通量：NP調査結果[五条坂(駐車場前)上り] 紅葉状況：京都市観光協会

【清水周辺】観光目的の自家用車増加と所要時間の変化

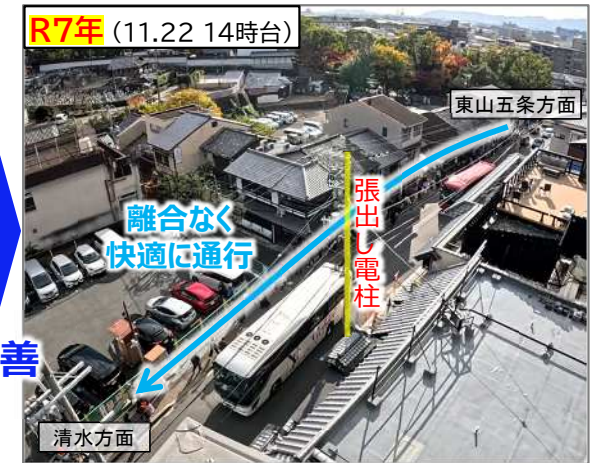
- R7年に混雑が悪化した清水坂では、自家用車が増加した時間帯に所要時間も悪化。
 - 一方、五条坂下りの所要時間は概ね横ばいで、時間帯によっては清水坂との所要時間差が拡大。
- ➔ 清水坂と五条坂の交通負荷のバランスを図ることが、一つの対策となる可能性。



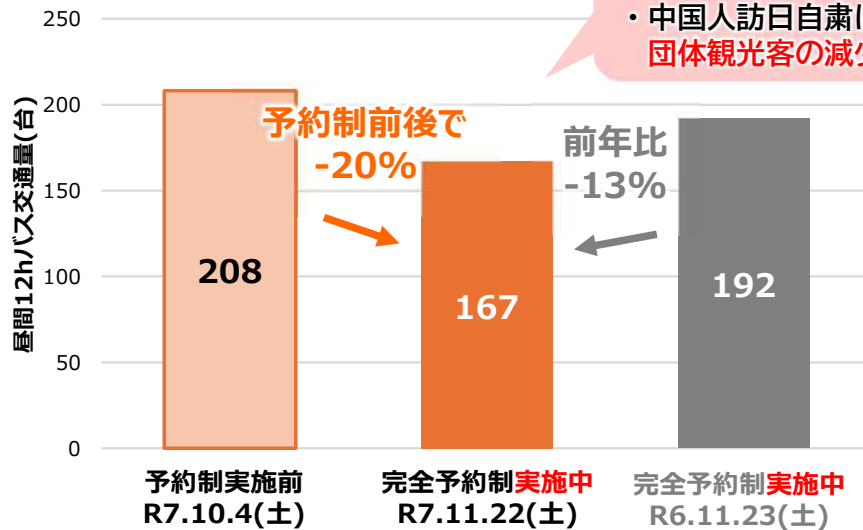
■ 清水坂の交通量と所要時間 [R6・R7年のピーク日]



- R6年 | 五条坂の狭隘部におけるバスの離合困難により交通が阻害され、先詰まりが**国道1号**まで波及。
- R7年 | 五条坂に流入するバス交通量が**減少**し、離合発生回数が減少した時間帯では**五条坂上りの混雑が改善**。

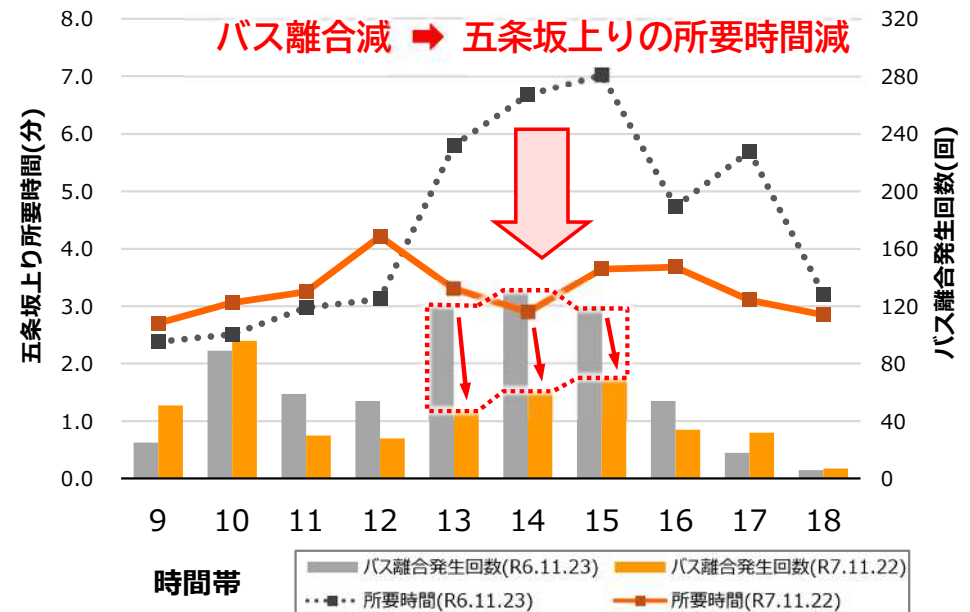


■ R7年秋の五条坂バス交通量



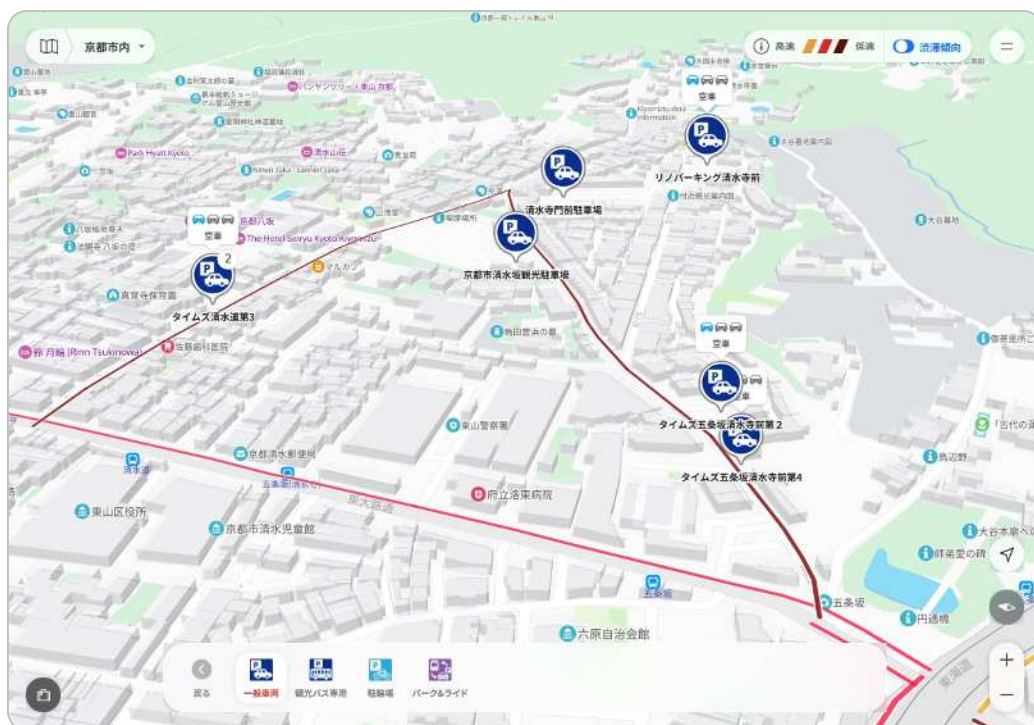
〈想定要因〉
 ・完全予約制の定着
 ・中国人訪日自粛による
 団体観光客の減少

■ 五条坂上りのバス離合発生回数と所要時間



〈出典〉 交通量：NP調査結果[五条坂(駐車場前)], [五条坂(流入・流出)]
 所要時間：ETC2.0プローブデータ 様式1-2 (小型車) 再マップマッチング後の値を使用

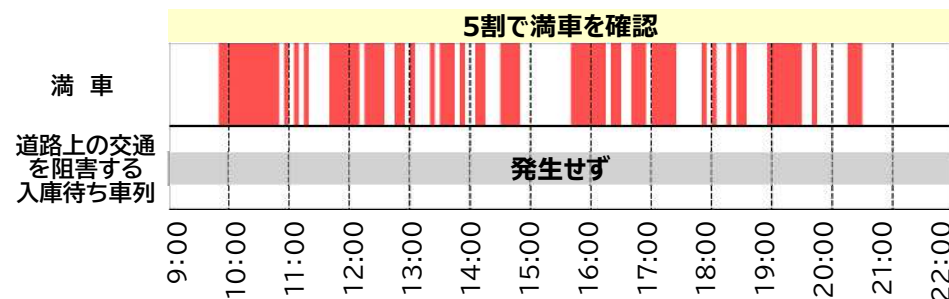
- 東山・清水寺周辺において駐車場探しによる不要な交通流入を抑制するため、民間駐車場の満空情報を発信。
- 観光ピーク期の**11月22日(土)**においては、満車の発生は確認されるものの、**入庫待ち車列の発生は確認されていない。**



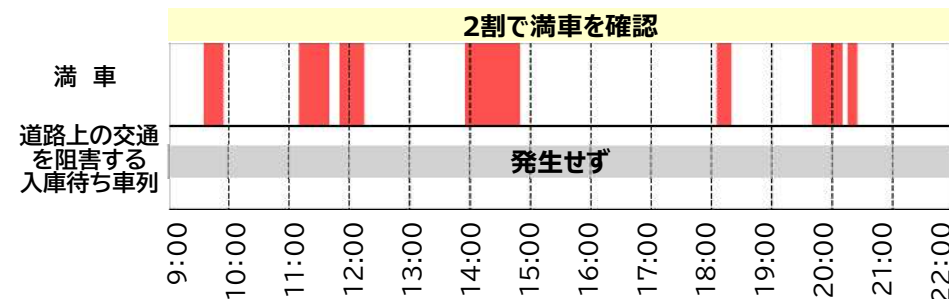
■駐車場の満車率及び入庫待ち車列の状況（11月22日（土））

■ 満車を記録 ■ 入庫待ち車列の有無

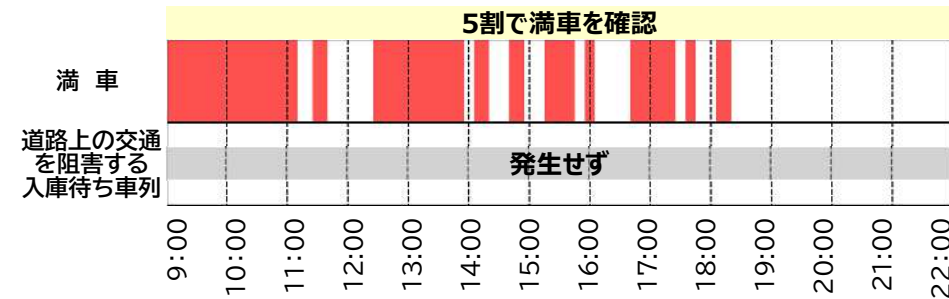
①清水寺門前駐車場（駐車容量：49台）



③タイムズ五条坂清水寺前第2（駐車容量：16台）



④タイムズ五条坂清水寺前第4（駐車容量：21台）



掲載駐車場	満空配信	駐車台数	備考
①清水寺門前駐車場	×	49台	
②京都市清水坂観光駐車場	×	59台	自家用車の受付制限 (バス完全予約制)
③タイムズ五条坂清水寺前2	○	4台	
④タイムズ五条坂清水寺前第4	○	4台	
⑤リノパーキング清水寺前	○	49台	
⑥タイムズ清水道第2	○	26台	
⑦タイムズ清水道第3	○	16台	